

## 研究ノート

## 社是の研究（その2）

寺岡 寛

1. 課題の設定
2. 社是と表現
  - 2-1. 金融・保険業
  - 2-2. 公益事業
  - 2-3. 製造業
    - 2-3-1. 繊維・衣服
    - 2-3-2. 食品
    - 2-3-3. 輸送用機器
    - 2-3-4. 電気・電子機器（以上、前号）
    - 2-3-5. 化学・ゴム・医薬品（以下、本号）
    - 2-3-6. その他
  - 2-4. 建設業
  - 2-5. 商業
  - 2-6. サービス業
  - 2-7. その他（以下、次号）
    - 2-7-1. 外資系企業
    - 2-7-2. グループ企業
3. 社是と社史
4. 社是と時代
5. 社是の寿命
6. 課題と展望
 

補論 海外企業の事例

## 2-3-5. 化学・ゴム・医薬品

三井化学は「企業理念」として「地球環境との調和の中で、材料・物質の革新と創出を

通して高品質の製品とサービスを顧客に提供し、もって広く社会に貢献する」、具体的項目として5項目「人類福祉の増進」、「株主への貢献」、「顧客満足度の増大」、「地球社会への貢献」、「従業員の幸福と自己実現」は現在も継承されている。「目指すべき企業像」として「世界の市場で存在感のある総合化学企業」、「重点化戦略 グループ戦略 グループ戦略」、「組織文化の革新」、「製品・事業の革新」、「仕事のやり方・経営システムの革新」が掲げられた。現在は、「目指すべき企業グループ像」として「絶えず革新による成長を追求し、グローバルに存在感のある化学企業グループ」が掲げられ、具体的には「3軸経営」として「経済軸・環境軸・社会軸から成る3軸経営（トリプルボトムライン）を深化させ、長期的視点に立った経営を行い、社会課題の解決に向けた取り組みを行うことで、社会と共に持続的な成長・発展を目指す」、「行動指針」として「誠実な行動」、「人と社会を大切に」、「夢のあるものづくり」が示されている。同じ三菱グループの企業をみておこう。

三菱ガス化学は「存在理念」として「化学にもとづく幅広い価値の創造を通じて、社会の発展と調和に貢献します」、「経営理念」として「世界に目を向けニーズをつかみ、市場の拡大・創出を行うマーケティング」、「働きがいある場を作り、意欲と能力を重んじ、活力ある集団をめざす経営」、「深くニーズを知

り、シーズをみがき、成果を生み出す創造的研究・開発]、「技術の向上、環境保全、安全確保に努め、より良き製品を提供する生産活動]、「目的を共にし、一人ひとりが活きる、風通しのよい社風]、「行動理念」＝「プロフェッショナル集団として」の下で「変化を恐れぬ勇氣]、「高い目標への挑戦]、「目標達成への執念]、「共感を広げるコミュニケーション」を掲げた。現在の「経営理念」はつぎの5項目である。「働きがいのある場を作り、意欲と能力を重んじ、活力ある集団をめざす経営]、「世界に目を向けニーズをつかみ、市場の拡大・創出を行うマーケティング]、「深くニーズを知り、シーズをみがき、成果を生み出す創造的研究・開発]、「技術の向上、環境保全、安全確保に努め、より良い製品を提供する生産活動]、「目的を共にし、一人ひとりが活きる、風通しのよい社風」。

三菱樹脂（現三菱ケミカルホールディングスグループ）は「社是」として「三菱樹脂はその社業を通じて、・・・高い価値を創造し、より豊かな社会づくりに貢献する]、「顧客にはより良い品をよりやすく]、「株主には安定した配当を]、「従業員には充実した生活を]、「その他関係先とは共存共栄を]、「社訓」として「顧客志向]、「誠実努力]、「相互信頼]、「緊密連絡]、「切磋琢磨]、「進取積極]、「決断実行」が掲げられた。現在の「グループ理念」は英文表記の「Good Chemistry for Tomorrow 人、社会、そして地球環境のより良い関係を創るために]、「ビジョン」として「KAITEKI 実現]、三菱ケミカルホールディングの「グループ・モットー」として、英文表記の頭文字をとり、「APTSIS 私たちは、安全・環境・健康・快適を実現することにより世界中から信頼される企業グループとなるよう一人ひとりが使命を持って行動します」が掲げられる。APTSISは「Agility（俊敏に、とにかく速く]、「Principle（原理原則・理念の共有]、「Transparency（透明性・説明責任・コンプライアンス]、「Sense of Survival（崖っぷちにあるという意識・危機感]、「Internationalization（グローバルな市場でのパフォーマンス]、「Safety, Security & Sustainability（製造における安全、品質における安心、情報セキュリティ及び環境対応）」である。

花王は、「基本理念」として「“よきモノづくり”を通して顧客の心を打つ満足を]、「使命」として「花王は、創造と革新に満ちた企業活動を通して世界中の顧客に、真の満足と喜びを与える価値ある製品とサービスを提供し、豊かな生活文化の実現に貢献することを、使命とします。全社員が力をあわせ、この使命を全うすることによって、顧客から最も支持され、信頼される企業グループとなることを目指します]、「経営理念」として「世界中の顧客に“心を打つ満足”を届ける（顧客満足の実現]、「独創的な発想と技術により、革新的な製品を創る（革新的な製品開発]、「顧客の信頼に応えるため、利益ある成長を続ける（利益ある成長]、「“個”の能力を尊重し、結集して企業の総合力（個の力の結集]、「環境との調和を図り、社会とのよき関係を築く（社会的責任の遂行）」を掲げ、現在の「花王ウェイ（企業理念）」は「消費者と顧客の立場にたった“よきモノづくり”を支える」であり、「使命」は「豊かな生活文化の実現]、「ビジョン」は「消費者・顧客を最も知る企業に]、「基本となる価値観」は「よきモノづくりの絶えざる革新正道を歩む]、「行動規範」は「消費者起点]、「現場主義]、「個の尊重とチームワーク]、「グローバルな視点」である。

ハリマ化成は、現在も「企業理念（Harima Philosophy）」として「わたしたちは自然の恵みを、くらしに活かす企業です。わたしたちは潤いのある、豊かな社会の創造を使命に、人と技術を大切にするグローバルカンパニーを目指します。わたしたちは理解し、協力し、心から信頼し合うこと、そして知的で感性豊かなチャレンジャーであることを行

動の基本とします。わたしたちの心は、YESナンバー1」を掲げる。このほかに、コンプライアンス重視の「ハリマグローバル企業行動基準」も示されている。日立化成工業の「経営理念（Mission）」は「時代をひらく優れた技術と製品の開発を通して社会に貢献する」であり、現在も継承されている。ほかに、「創業の精神（Values）」は「開拓者精神」、「誠」、「和」であり、「グループ・ビジョン」として「私たちは、未知の領域に踏み出すチャレンジ精神をもって、化学を超えた『新たな価値』を創造し、社会とお客様の期待を超える『驚き』を実現します」が掲げられる。

「経営理念」として「われわれの知恵と力で豊かな生活・環境を創造し、社会に貢献しよう」を掲げたアロン化成は、現在はほかに「企業方針」として「さらに磨きをかけ、存在感のある開発提案型企業へ」を掲げる。寺岡製作所は、元来、大正期創業の産業用の粘着テープや電気機能材料などを生産するメーカーであり、「社是」として「御得意への奉仕、よい品を早く安く」、「株主に公正な配分を」、「企業を通じ社会への奉仕」、「従業員に安定した生活を」、「強く正しく明るく、仕事は積極的に」を掲げ、現在も継承されている。食品トレーのエフピコは「社訓」として「責任、自信、和、忍（がまん）、健康」、「経営理念」として「顧客第一主義」を掲げる。

戦後、鐘淵紡績から分離した鐘淵化学工業（現カネカ）は、「企業理念」として『人と技術の美しい調和』のもとに確かな価値を創造し、世界の人々に貢献します。1. いつも世界に目を向けて、2. いつも自分に厳しくし、3. いつもみんなと手を組んで、4. いつも仕事を面白く、5. いつも時間を大切に6. いつも現場を忘れずに」を掲げたが、創立60周年を記念して新たに「カネカの企業理念」として「人と、技術の創造的融合により未来を切り拓く価値を共創し、地球環境とゆたかな暮らしに貢献します」、「カネカの目

指す企業像」として「もっと、驚く、みらいへ」の下、「未来をつなぐ」、「世界をつなぐ」、「価値をつなぐ」、「革新をつなぐ」、「人をつなぐ」を掲げるとともに、多くの企業と同様にステークホルダーやコンプライアンス重視の「CSR基本方針」も示している。

上下水道関係の化成品の前澤化成工業は、「社是」として5項目、「我が社は、顧客第一主義を信条する」、「我が社は、クレーム処理に当たりては、すべての業務に優先する」、「我が社は、地域・商品・得意先の第一位を目指し占有率の拡大を計る」、「我が社は、製品の開発・技術革新並びに品質の向上を計る」、「我が社は、労使協調と相互信頼を経営の基盤とする」、「経営理念」として5項目、「人と水を技術でつなぎ、社会のために幸せを創造する」、「創意工夫し、知恵を出し、感性を磨き、提案開発型企業として発展する」、「すべてをプラスに考え、前向きに行動する」、「素直な心で、あらゆることに感謝する」、「自然を愛し、人を大切にする」を掲げた。この「経営理念」は現在も継承されている。

クレラップなど家庭用品で専ら知られる呉羽化学工業（現クレハ）は、「経営理念」として、「私たち、夢と希望と勇気をもって、限らない創造に挑戦します。先端化学技術を駆使して、可能性のサムシングを追求し、世界の人々に尽くします。お客様を大切に、技術と誠意で応えます」が掲げられ、現在の「企業理念」は「私たち（クレハ）は、人と自然を大切にします」、「常に変革を行い成長し続けます」、「価値ある商品を創出して、社会の発展に貢献します」となっている。日本触媒は、「企業理念」として『テクノアメニティー』 私たちはテクノロジーをもって人間生活に豊かさと快適さを提供します、「経営理念」として「人間性の尊重を基本とする」、「時代に先行する技術に挑戦します」、「国際的な視野に立って活動します」、「行動指針」として「信頼の絆で個性を発揮」、「未知に挑むスピリッツ」、「視界は世界へ360

度」を掲げた。「経営理念」については、最初の項目はそのままであるが、そのほかの項目は表現などが改められ、「社会との共生、環境との調和を目指します」、「未来を拓く技術に挑戦します」、「世界を舞台に活動します」となった。「社是」としては、この間に化学企業の大規模な工場事故があったことからだろうか、「安全が生産に優先する」が制定された。多くの企業と同様にコンプライアンス重視の「企業行動憲章」も定められた。

肥料と化成品の片倉チッカリン（現かたくらコープアグリ）は、片倉という社名が示唆するように、片倉製糸紡績（現片倉工業）の関係会社として大正期に創業された経緯がある。同社は、「企業理念」として「事業を通じて社会に奉仕する」、「行動指針」として「創造的チャレンジ精神・公明正大」、「企業像」として「地域貢献型企業・研究開発型企業」を掲げ、現在の「基本理念」は「事業」が「企業活動」に置き換えられ、現在も継承されている。現在の「行動規範」は「創造と挑戦」、「安全と安心」、「公明正大」、「明朗闊達」であり、「企業像」については、「環境共生型企業」が付け加わった。

クミアイ化学工業は、JA 系列の農薬などの化学薬品企業で、「企業理念」として「私たちは創造する科学を通じて『いのちと自然』を守り育てることをテーマに前進します」であったが、現在は後半部分が「安全・安心で豊かな社会の実現に貢献します」となっている。「経営理念」として「常に市場に密着し、顧客のニーズと信頼に応える」、「常に世界に目を向け、世界市場でリーダーシップをとるグローバル企業を目指す」、「常に新しい目標にチャレンジし、行動する活力溢れる人間集団を形成する」が掲げられたが、現在「経営ビジョン」として表現がすこし変えられたほかに、「常に透明性ある企業活動を通じ、全てのステークホルダーとの調和を図る」が加わった。「行動指針」は「挑戦—ビジョンの実現に向かって挑戦しよう」、

「サービス—顧客に目を向け汗を流そう」、「革新—今がベストではない。日々ベストを考えよう」であったが、現在は「社会への奉仕」、「創意工夫」、「積極にして果敢」、「理解と信頼」が掲げられる。

農薬のアグロカネショウは、「経営理念」＝「我が信条」として「第一、我々の責任は、我々の商品とサービスを利用するすべてのお客様に対するものである。商品とサービスの品質は最高のものを目指さなければならない。適正な価格を維持するために常にコストの引き下げの努力をしなければならない。注文には迅速かつ正確に応えなければならない。我々の取引先には適正な利益をあげる機会を提供しなければならない」、「第二、我々の責任は、我々の事業に参画しているすべての社員に対するものである。社員は個々にその人格が尊重され、個性と長所が認められなければならない。社員が安心して働けるよう待遇は正当かつ適切でなければならず、またその家族に対し責任を果たせるよう配慮しなければならない。働く環境は清潔で整理整頓されかつ安全でなければならない。社員の意見が自由に言える雰囲気ではなければならない。能力のある社員がその能力を発揮できるよう、能力開発・登用・昇進の機会は平等に与えられなければならない」、「第三、我々の責任は我々が事業を営む地域社会、ひいては社会全体に対するものである。我々は事業を通じて地域社会の発展及び福祉に寄与しなければならない。我々は市民の義務として適正な租税を負担しなければならない。我々の使用する施設及び提供する商品は社会の環境に対して安全なものでなければならない」、「第四、我々の責任は株主に対するものである。我々の事業は健全な利益を生まなければならない。我々は常に現状に満足することなく、斬新な企画が提案され、研究開発に力を注がなければならない。新しい設備を導入し、施設を整備し、より良い商品を創造して市場に出していかななければならない。如何なる経済

環境にも絶え得るよう資本と信用を蓄積していかなければならない。これらのことを成就して、株主には適当な配当をしなければならない」を掲げ、現在は、より簡潔な「経営理念」が「我が信条」として「お客様のために」、「社員ののために」、「社会のために」、「株主のために」となっている。

神戸市には天然ゴムの輸入港であった関係から、ゴム関係の企業が多い。三ツ星ベルトもそうした企業の一つである。三ツ星ベルトの「基本理念」は「三ツ星を中核とする総関係者が、“今日の三ツ星に誇りを持ち、明日の三ツ星に希望を託す”ことに信念をもって行動する」であり、「基本方針」として「企業の安定的成長」、「利益確保」、「従業員の生活安定」、「社会的責任の遂行」が掲げられた。この基本理念は、現在では英文も付け加わり、「社訓」(To act with pride in how we stand today and look forward to the future)として継承され、「基本理念」としては「人を想い、地球を想う」(To give attentive consideration to both humanity and nature)、「経営基本方針」として「高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」(To contribute to society by supplying goods of high performance, high precision and high quality)が掲げられる。ほかに企業イメージとして、三ツ星＝「一つの星は『高機能製品』」、「一つの星は『高精度な製品』」、「一つの星は『高品質な製品』」が示され、「三つの星を囲む三角形は『人を想い、地球を想う』、三ツ星ベルトグループが持つ伝統『信頼の約束』を意味します」とされる。

同じゴム分野では、東洋ゴムは、「社是」として「昨日より今日はより良くより安く、需用者のために、各自の職場で最善を」、「夢と顧客をつくり続ける」という「行動指針」として「一人一人の夢、顧客の夢を、仕事を通して育てる・・・そのために、日々、次のように心がけて行動しよう。1.

私たちならではの方法を考えよう。2.速やかに実行しよう。3.いいところを伸ばそう。4.自由な結びつきをつくって行こう。行動の権限は社員に属する」を掲げた。この「社是」は現在も継承される一方で、「行動指針」の一部は現在の「私たちの使命(ミッション)」へ継承され、「お客さまの期待や満足を超える感動や驚きを生み出し、豊かな社会づくりに貢献します」となっている。このほかに、「私たちのありたい姿(めざす企業像)」として3項目、「私たちは、たゆまぬ技術革新によって、一步先の未来を創る企業をめざします」、「私たちは、挑戦心と独創的な発想にあふれた闊達な風土を持つ企業をめざします」、「私たちは、企業活動に関わるすべての人びとと喜びを分かち合う企業をめざします」、「私たちの持つべき価値観(TOYO WAY)」として4項目、「〈公正さ〉社会に正しく役立つことを旨として、私心のない公明正大な行動をとる」、「〈誇り〉会社と仕事、自分自身に高い誇りを持ち、最後まであきらめない」、「〈主体性〉何事にも、自らが主体となって受け止め、自らが主体となって取り組む」、「〈感謝〉人と社会に思いやりと感謝の心を持ち、誠意を込めて力を尽くす」、「〈結束力〉仲間とともに知恵と力を結集し、常に創意工夫と改良改善を続ける」が掲げられる。ゴムシートや樹脂ホースのタイガースポリマーの「社是」が簡潔に「信頼ある柔軟性」であり、現在も継承されている。このほかに、経営理念として3項目、「経済活動を通して付加価値を生み出し、広く社会に貢献する」、「株主の皆さまをはじめ従業員、取引先、社会などすべてのステークホルダーの価値と期待に応える」、「企業の発展と持続性確保のため、市場の変化にすばやく対応し、常に顧客指向を『信念』として、その実現のために多種多様な変化に対し、『柔軟』に対応する」、「経営の基本方針」として4項目、「3つの基本技術(ホースを作る技術、ゴムシートを作る技術、モールド(成形品)を作

る技術)をもとに製造した製品を4つの市場(家電、自動車、土木・建築・住宅、産業資材)に供給し、バランスのとれた経営を指向する」、「参加したそれぞれのニッチ市場で高シェアを獲得すべく経営資源の集中化を図る」、「海外で需要のある国に事業を展開し、現地生産、現地販売を基本に最適地での生産を行う」、「技術開発に力を注ぎ、優れた技術により品質、効率、生産スピード等の面で他社との差別化を図る」が掲げられる。

日本ゼオンは、当初、米国のB・F・グッドリッチ・ケミカルとの合弁企業としてスタートしたが、その後、株式は日本側に譲渡され、合成ゴムや高機能性樹脂のメーカーとして発展してきた。同社は「社是」として「現状維持は退歩なり」の下、「企業理念」として「大地の永遠と甚ルの繁栄に貢献するゼオン—大地(ゼオ)と永遠(エオン)からなるゼオンの名にふさわしく、世界に誇り得る独創的技術により、地球環境と人類の繁栄の貢献する」、「ゼオン七条前文」として「社会貢献(連帯)—企業倫理を守り、社会の公器として行動し、社会に貢献する」、「独創的技術(個性)—独創的技術、個性豊かな事業で顧客の期待に応える」、「全員参加(活性)—個人を活かし集団との相乗的総合力を結集し、全員参加で事に当たる」、「ゼオン七条」として「第一条ゼオンは企業倫理を守り社会の公器として行動します」、「第二条ゼオンは環境と安全と重視します」、「第三条ゼオンは独創的技術で社会に貢献します」、「第四条ゼオンは顧客が満足する製品を届けます」、「第五条ゼオンは個人を活かし組織を重視します」、「第六条ゼオンは全員参加で課題に挑戦し、成果は公平に配分します」、「第七条ゼオンは意志決定や仕事の納期の速力を重視します」、「経営方針」そていて「従業員はもとより、世界の顧客、株主及び地域社会にも信頼される企業を造る」、「世界に誇り得る独創的技術で事業を確立し、特定分野でも常に世界No.1を目指す」、「特に環境と安全が重視さ

れ、グローバルトップの品質・コストの生産方式が駆使されている」、「成果実績主義を徹底し、人を活かした活力ある風土を創り上げる」、「ゼオングループに働く人達の生涯設計を視野に入れた労働条件の確保を図り、ゼオンファミリーの連帯感を重視する」を掲げ、「企業理念」等は現在も継承されている。

日本で最初のベークライト(フェノール樹脂)を手掛け、現在ではさまざまな樹脂製品をもつ住友ベークライトの「社是」=「基本方針」は「我が社は、信用を重んじ確実を旨とし、事業を通じて社会の進運及び民生の向上に貢献することを期する」を掲げ、いまでも継承されている。同社は住友グループであり、「住友の事業精神」も掲げる。また、現在ではコンプライアンス重視の「行動指針」も導入されている。住友ベークライトの社是は比較的完結であるが、建築塗料などのエスケイ化研は、比較的長い社是などを掲げる企業である。当初の社名は四国化研工業である。1990年代に盛んになったコーポレート・アイデンティティ運動のなかで、現在の社名に改称されて、「社是」としては、「生間続進」=「生き生きとした真剣な人間活動と絶えまざる会社の成長」の下、「人の入と出を大切に」、「感謝とサービスを大切に」、「物の入と出を大切に」、「物事の管理と継続を大切に」、「金の入と出を大切に」、「創造と試練を大切に」、「社訓」として10項目、「基本姿勢」、「計画実行」、「適時開発」、「相互信頼」、「理解希望」、「捨て勝つ」、「尽力奉仕」、「責任完遂」、「誠実誠意」、「礼節素直」、「経営理念」としてやや長文の「我社は建築材料や特殊塗料、無機材料及び化学化成品分野において、常に材料の革新を追求し、高度技術と個性的製品の開発並びに生産販売を通じて、多くの顧客に利益と喜びを与え、社会に貢献することを最大の使命とし、これを通じ全社員の生活と人格向上、会社の安定と発展を計り、業務にあたりては一人ひとりが経営に参画協力し、その成果をあげることに生き甲斐

を持った集団であり、常に優良一流の会社たることを理念とする」が掲げられてきた。現在は、「経営理念」として短く、「多くの顧客に利益と喜びを与え、社会に貢献することを最大の使命とする」となった。

同様に建築関連の樹脂製品の香川県丸亀市に本社を置く四国化成工業の「社是」は「独創力」ともっとも簡潔である。現在も継承され、「私たちは常に独創性を重んじ、これを会社発展の原動力とする」とされ、「ビジョン（目指す姿）」として「豊かで輝く企業、小粒でも世界に通用する企業集団となる」が掲げられる。旭化成の関連企業で配管機材と樹脂の旭有機材工業（現旭有機材）は、「社是」として「企業を通じて社会の繁栄に貢献する」、「全従業員の経営感覚の昂揚により社運の隆盛を計る」、「独自の新製品の開発に努力する」を掲げたが、現在は「基本理念」として「私たち、旭有機材グループは、『挑む・創る・変える』の改革精神で新たな価値を創造・提供し、人びとの豊かなくらしに貢献します」、「経営理念」として「人が主役です」、「お客様の信頼が命です」、「技術がキラリと光ります」、「世界に挑戦します」、「安全衛生・環境保全は使命です」、「法と社会規範を守り、社会と共に歩みます」、ユニークな表現である「人財理念（会社が約束すること）」として「成長を支援します」、「公平に評価します」、「生活の安定・向上を目指します」、「安全で働きやすい職場環境作りを進めます」が掲げられている。

感光性材料のダイソーケミックスは、「企業理念」として「わたしたちは『快適でより豊かな社会づくり』を合言葉に『一步先を行く、スペシャリティ・ファインケミカルメーカー』をめざします。そのために『グッドマインド』『グッドパートナー』『グッドテクノ』を大切にしてください」、「行動指針」として「私たちは人間性の尊重を基本におき、『すべての人を顧客と考え』『創造と革新に挑戦し』『迅速に対応する』ことを約束し

ます」を掲げた。現在は、長文であった「企業理念」のなかの「快適でより豊かな社会づくり」を掲げる。防音、防水や遮熱などの特殊塗料のほか、自動車の防音材や防振材などを手掛ける日本特殊塗料は「社是」として「創意工夫」、「経営理念」として「優秀な製品と卓越した技術により社会に貢献する」、「社員の福祉を増進し、株主の利益を尊重する」、「信頼される会社として、永遠の発展を目指す」を掲げた。現在もこの社是と経営方針は継承されるとともに、「経営の基本方針」として「創意工夫を社是とし、独自の技術と製品をもって顧客の要請と信頼にこたえる。世界に活躍する企業として総合開発力を結集し、新製品・新需要の開発に挑戦する。人材の育成・登用をはかるとともに、一切の無駄を省き、高生産性・高収益を追求する」が示されている。

日油技研工業の「社是」は3つの言葉「知恵」、「協調」、「参加」である。同社の前身の帝国火工品は、社名からも創造できるように戦前、埼玉県川越市に工業用雷管の企業として設立され、戦後は石炭産地に工場が設けられた。現在は石炭需要の減少とともに、宇宙ロケット用の固体推進薬などロケット用火工品のほか、示温材、滅菌用資材、電設資材などへと多角化してきている。社是は現在も継承されている。東洋インキ製造は、印刷インキのほか、塗料、樹脂などの東洋インキグループの理念の下に、「経営哲学」＝「人間尊重の経営」、「経営理念」＝「私たち東洋インキグループは世界にひろがる生活文化創造企業を目指します」として「世界の人びとの豊かさと文化に貢献します」、「新しい時代の生活の価値を創造します」、「先端の技術と品質を提供します」、「行動指針」として「顧客の信頼と満足を高まる知恵を提供しよう」、「多様な個の夢の実現を尊重しよう」、「地球や社会と共生し、よき市民として活動しよう」を掲げてきた。現在も経営哲学、経営理念、行動指針は継承されている。ただし、

「行動指針」にもう一項目付け加わった。すなわち、「株主権を尊重し、株主価値の向上に努め市場の評価を高めよう」である。

トヨタグループの豊田（トヨタ）合成は、トヨタ自動車のゴム部門から独立した経緯をもつ企業であり、自動車の内外装品などを手掛ける。「経営理念」は「限らない創造 社会への奉仕」であり、具体的項目として「着実な成長」、「お客様の満足」、「人間性の尊重」、「社会との共生」、「環境との調和」、「国際社会との融和」が掲げられてきた。現在では、経営理念の具体的項目の順序は「お客様の満足」がトップにきて、当初のトップであった「着実な成長」が最終項目となっている。自動車用の内装皮革だけでなく、自動車の内装樹脂製品や合成皮革なども手掛ける共和レザーもトヨタグループの企業である。同社の「存在理念」は「豊かな人を育て、新しい価値創造をめざし、社会に貢献する」、「経営理念」として「真のニーズを探り、創造的研究開発と高度な技術力で、お客様のご要望にお応えする商品を提供する」、「社員の個性や能力を重んじ、多様な価値観を共存させ、オープンで活力のある企業風土をつくる」、「効率的な経営を通じて、強靱で安定した企業基盤をつくり、長期的な成長をめざす」、「世界に目を向け、国際社会との調和と繁栄をめざす」、「知恵と工夫をこらし、かけがえない地球環境を守る」を掲げた。現在は、他の多くの企業と同様に顧客指向が反映され、「お客様に安心・心地よさ・感動を与える商品を継続的に提供する事により、快適な社会の実現に貢献する」の経営理念の下に、「高い倫理を持ったオープンでフェアな企業活動を通じて、社会から信頼される良き企業市民を目指す」、「時代を先取りした研究開発に努め、将来にわたりお客さまの期待に応え、新たな価値を創造する」、「安全・環境・品質・リードタイム・コスト全ての面でトップを目指したオリジナルな製品・生産プロセスを実現する」、「労使相互信頼を基本に、一

人ひとりが個性と能力を發揮し誇りを持って働く事ができ、自らの成長を実現・実感できる企業風土を作る」が掲げられ、「行動指針」として「夢と志を持って、仕事に挑戦する」、「オーナーシップの精神に基づき、自分が会社を成長させるという強い気概を持つ」、「働く仲間を常に思いやり、チームワークとコミュニケーションを大切にする」、「自己研鑽に心懸け、自己を成長させる努力を惜しまない」が示されている。

瞬間接着剤などの東亜合成の「社是」は「化学事業を通じてより多くの人々とより多くの幸福を分かち合う」である。現在も継承されている。同社の社名もまた時代性を感じさせる。前身は福澤桃介（1868～1938）たちの出資による硝酸製造企業であったが、親会社格の矢作水力から独立して矢作工業となり、敗戦の前年に曹達会社3社と統合し現企業名となっている。金属表面処理関係の化学薬品の石原薬品（現石原ケミカル）は、「われわれの目的」として「われわれの努力と勤労で、立派な会社に発展させると共に、われわれの生活を向上し、仕事を通じて社会に奉仕します」、「行動規範」として「三つの開発（自己開発、商品開発、市場開発）」を掲げ、三つの開発方針は現在も継承されている。

以下では、製薬企業のケースをみていこう。有機合成薬品工業は現在も「企業理念」として「わが社は内外のあらゆる技術を駆使して人の役に立ち人によるこぼれるものを創る」を掲げる。ほかに「経営理念」として「私たちファインケミカルに機軸を置き英知と技術を結集した真の『モノづくり』に挑戦します」が導入されている。山之内製薬は、現在、藤沢薬品と合併して、アステラス製薬となっている。以前は「グループ理念」として「健康を、生みだす力、届ける心。山之内グループは、人と地球のいきいきとした毎日 contributes」、 「グループ行動指針」として「人間の尊重」＝「一流の技量と品性を持つ、強く温かい個人をめざします」、「社員の働き



がいと生活を大切に、豊かさゆとりを実現します」、**「個性と人格を認めあい、共感と創造性にあふれた風土を築きます」**、**「健全な事業活動」**＝**「人々の健康と福祉のために、有用な製品と情報を社会に提供します」**、**「つねに患者・消費者の立場で考え、科学と倫理に基づいた適正な事業活動を行います」**、**「グローバルな視点に立って業務全般の質の向上に努めるとともに、資産と経験を次代に引き継ぎます」**、**「社会との調和」**＝**「公正・自由な競争を行うとともに、企業の透明性を高め、社会の良識に基づいて行動します」**、**「地球環境を大切に事業を進めます」**、**「社会貢献活動を通じて、健やかで明るい社会づくりに参加します」**が掲げられた。

ちなみに、藤沢薬品工業には「経営理念」として『**「人とフロンティア」**』に挑戦し、**「世界の人々の健康で豊かな生活に貢献する」**、**「事業領域」**として**「ヘルスケアを軸として医療、健康、生活の領域で製品・サービスを提供する事業をグローバルに展開する」**、**「経営基本方針」**として**「経営の全ての活動は、企業倫理をベースとして顧客のために役立つことを最大の目標として、これを通じて適正な利潤を確保する」**、**「事業理念・企業体質強化戦略」**として**「経営理念、経営方針などを受け、会社を取り巻く環境の中で、目指すべき目標とそれを競合に打ち勝ち達成するための方策を示すものです—特に、個々の事業に関するものを、事業ビジョンと呼びます」**、**「行動指針」**として**「顧客志向の発想をしよう」**、**「外に向けよう」**、**「全員が専門家になろう」**、**「創造と挑戦にあふれた行動をしよう」**が掲げられた。

合併後のアステラスの「経営理念」には3本の柱が立てられた。一つは**「存在意義」**として**「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」**、**「使命」**として**「企業価値の持続的向上」**、**「信条」**として**「高い倫理観」**、**「顧客志向」**、**「創造性発揮」**、**「競争の視点」**が導入されている。医療用薬品の持田製薬

は、「社是」として**「絶えず先見的特色のある製品を開発し、医療の世界に積極的に参加し、もって人類の健康・福祉に貢献する」**を現在も掲げている。ほかに**「持田製薬グループ行動憲章」**として3つの**「基本姿勢」**＝**「事業活動における基本姿勢」**、**「社会的要請への基本姿勢」**、**「経営トップ（代表取締役を中心とした経営層）の基本姿勢」**を掲げる。ジェネリック医薬品の日本医薬品工業（現日医工）は、「社訓」として**「自分の職務に対する責任感の旺盛な態度」**、**「変化を恐れずそれを受け入れる態度」**、**「困難を恐れずたえず発展を求めそれをなすとげる態度」**、**「自分自身に対しても常に高い目標を課し、たえず自己啓発をはかる態度」**を掲げた。現在は、社名の改称に際して、社業の特徴を強調した**「ミッションステートメント」**として**「我々は、我々のジェネリック医薬品が、世界の患者・薬剤師・医師・卸売業者・製薬企業に必要とされ、提供し続けるために自らを存続する努力を行い、ジェネリックメーカーとして世界で卓越する」**を導入している。

大阪道修町の薬種問屋をルーツとする医療用医薬品の塩野義製薬（シオノギ製薬）は、「基本方針」のかたちで**「シオノギの目的」**＝**「シオノギは、常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」**、**「そのために」**＝**「益々よい薬を創り出さねばならない。益々よい薬を造らねばならない。益々よい薬を多くの人々に知らせ、使って貰わねばならない。創り、造り、売ることを益々経済的にやりとげねばならない」**、**「シオノギの人々のあらゆる技術が日々休むことなく向上せねばならない。シオノギの人々が、人間として日々休むことなく向上しなければならない」**、**「その結果」**＝**「シオノギの人々は日々の仕事と生活に益々生甲斐を覚える。シオノギの人々の生活の仕方が益々改善せられる。シオノギの人々の生活が益々豊かになる」**を掲げ、現在も継承されている。このほかに、「行動方針」の下、「ミッション（行動指針）」

＝「患者・家族の方々の QOL 向上を実現するために、患者・家族・医療従事者の方々により一層満足度の高い医療品をお届けする」、「ビジョン（行動目標）」＝「存在感のある強いシオノギ 私たち自身がやりがい、誇り、夢の持てるシオノギ」、「バリュー（行動規範）」＝「顧客志向・信頼・プロフェッショナル・現場重視・個の尊重」を掲げ、「行動憲章」としてコンプライアンスを強調する。医療用医薬品の長野県松本市のキッセイ薬品工業は、橘生化学研究所、橘生薬品工業からカタカナ名へと改称された企業名である。「経営理念」として「純良医薬品を通じて社会に貢献する」、「会社構成員を通じて社会に貢献する」、「社員五訓」として「信頼される社員たれ」、「根性と勇気のある社員たれ」、「規律と礼儀を守る社員たれ」、「創造性のある社員たれ」、「誇りと自信をもって実行する社員たれ」が掲げられた。経営理念は現在も継承され、「経営ビジョン」として「世界の人びとの健康に貢献できる独創的な新薬品を開発し提供する創薬研究開発型企業を目指す」、「キッセイ薬品行動憲章」とし「私たちは、医薬品をはじめとする、優れた製品を開発し提供することにより、世界の人々の健康及び医療の向上に貢献します」を掲げる。

製造企業ではないが、エーザイは「めざす企業像」として「いかなる医療システム下においても存在意義のあるヒューマン・ヘルスケア企業」の下、「企業理念」として「患者様と生活者の皆様の喜怒哀楽を考え、そのベネフィット向上を第一義とし、世界のヘルスケアの多様なニーズを充足する」を掲げ、企業理念は現在も継承されている。他方、「めざす企業像」はコンプライス条項が取り入れられ、「一人ひとりが法令と倫理を遵守したビジネス活動を徹底し、いかなる医療システム下においても存在意義のあるヒューマン・ヘルスケア企業」となっている。ほかにステークホルダー重視や社会貢献などの「企業行動憲章」が示されている。かつては（旧）

三和銀行グループに属し、その後、ドイツ資本をへて現在はフランス資本の下にあるエスエス製薬は、「経営理念」として「全ての人々の健康を願い、限りない探求を挑戦を続け、信頼され、親しまれるヘルスケアの狙い手を目指す」を掲げ、現在の「私たちのミッション」＝「全ての人々の健康を願い、革新による価値の創造を追求し、信頼され、親しまれるコンシューマーヘルスケアの担い手を目指す」へと継承されている。東京田辺製薬は、現在では田辺三菱製薬となっている。東京田辺製薬時代の「企業理念」は「人々の健康と幸せを願い、優れた医薬品を開発し、信頼される製品を提供する」であった。田辺三菱製薬は、「企業理念」として「医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します」であり、「めざす姿」として「国際創薬企業として、社会から信頼される企業になります」、「企業行動基準」として「使命感と誇り」、「挑戦と革新」、「信頼と協奏」、「社会との共生」を掲げる。

## 2-3-6. その他

先にみた輸送用機器、電気・電子機器の分野以外にも一般産業機器、精密機器、建設機器など多種多様な機器を製造する企業がある。工作機械のエンシュウは、「企業ビジョン」として「品質絶対を基本としお客様第一主義に徹する」、「柔軟な思考により経営の効率化に挑戦し執念を持って実践する」、「メーカーのプロとして自覚を持ち働く誇りと喜びを共にする感動形企業を創出する」、「経営理念」として「売ってよろこび、買ってよろこび、作ってよろこび、一生懸命につとめ、共生共栄を旨とする」を掲げ、現在も継承されている。愛知時計電機は、柱時計メーカーとして設立され、現在はガス・水道関連機器のほかにも精密機器を製造する。同社は「企業理念」として「信頼、創造、奉仕」の下、「私たちは創・造と奉仕を通じてお客様や社会の

信頼を得る企業を目指します」、「企業姿勢」として「明るい職場環境」、「社内外に相互信頼の環を拡げるため、コミュニケーションの場の拡大」、「公正な企業活動を通じて、社会公共の利益増進への努力」、「地球環境との調和と社会貢献活動への参加を通して、企業市民意識の高揚」を掲げ、現在もその精神は継承され、「創造をベースに奉仕をし、その結果として『信頼』を獲得し続けます」の「企業理念」となっている。

愛知時計電機のかつての航空機関連部門から独立したのは愛知機械工業で、自動車関連のほかに産業用部品を製造する。現在は、日産自動車の子会社である。同社は「社是」として「わが社は常に信頼性のある優秀な製品を廉価に生産して社会に貢献する」の下、「経営理念」として「わたくしたちはお客様に満足していただけるくまに関連した『モノづくり』を通じて、社会と調和しながら『ひとの豊かさ』を追求します」、「行動指針」として「誠実に行動し、社会から信頼される人をめざそう」、「他にない技術で価値を創造し、魅力ある商品を提供しよう」、「みずから高い目標に挑戦し、ゆたかな職場をつくろう」を掲げ、現在も「社是」と「経営理念」はそのまま継承されている。液体流量計のオーバルは、「存在意義」として「オーバルは、オーバルを支え、育てる人々のために存在する」、「事業領域」として「オーバルは、ファイン・フロー・マネジメントを事業の核としてあらゆるフィールドにおける新しい価値を創造する」、「コーポレートメッセージ」として「流れに価値を加えます（We add value to the flow）」を掲げる。

荷役・物流関係のマテリアル・ハンドリング機器のキトーは、「企業の目的」として「我が社は、荷役・物流の分野に於いて、顧客の継続的な満足と感動を提供することを企業の存在価値とし、その目的達成のため左記諸項の飽くなき追求に邁進し、その成果として対価を得、従業員及び社会への還元を行

う。1. 品質、2. 価格、3. 顧客サービス、4. 革新」の下、「お客様の立場」を強調する「行動指針」と「品質方針」を掲げ、現在の企業理念は「すべてのお客様に満足と感動を……」で前述のものをほぼ踏襲し、このほかに「キトーの目指す組織」として「明るい雰囲気の中で、バラエティーに富んだメンバーが調和のとれた形で編成され、全員が『お客様』という同じ方向に向かって努力し、協力し合い、熱意を持って仕事に取り組む集団であり、加えてそれら一人ひとりの取り組みが報われる組織」が示されている。

さまざまな機器に使われているボールベアリングの天辻鋼球製作所は、「社訓」として「お互いの立場を尊重し、常に感謝の心で明るく働こう」、「専門業者の使命を自覚し、広く世界の福祉に貢献しよう」、「観点を新たに、技術の限界に挑戦しよう」、「少数精鋭主義の真の意味を理解し、精鋭となろう」、「着実に実績を積み重ね新しい目標に向かって前進しよう」を掲げ、ほかに現在は「企業行動憲章」として「顧客満足度」、「誠実な企業行動」、「法令等の遵守」、「人権の尊重」、「情報の開示と管理」、「環境保全」、「職場の職域づくり」、「社会貢献活動」、「反社会的勢力への対応」、「グローバル化に対応した活動」、「本憲章の遵守」が示される。「企業理念」として「水と空気と環境の分野で、優れた技術を最良のサービスを提供することにより、広く社会に貢献する」を掲げてきたポンプメーカーの荏原製作所は、現在、「ブランドステートメント」として「Looking ahead, going beyond expectation」を導入している。

水処理装置のオルガノは、「企業コンセプト」として「Ecologically Clean」を掲げ、グループの「企業理念」として「オルガノは、かけがえのない地球の未来を見つめ“心”と“技”で水の価値を創造する」、グループの「経営理念」として「地球を大切にする経営」、「お客様を大切にする経営」、「人を大切にする経営」、「技術（技）を大切にする経

営」を掲げ、現在はこれに「株主を大切に  
する経営」が付け加わっている。以前には、  
「オルガノ・マインド・スローガンー3Aの  
実践」として「Attractiveーお客様にと  
って魅力ある価値を創造し、満足という対価を  
追求しよう」、「Advancedー将来に立って現  
在を見据え、自らを革新していこう」、「Ac  
tiveー失敗を恐れず、プロとして果敢に挑戦  
しよう」や、「挑戦テーマ」として「Clean  
Earthー健康な地球を取り戻す高度技術の開  
発」、「Clean Energyー新エネルギー開発の  
支援」、「Clean Technologyー先端産業を支  
えるハイエンジニアリング」、「Clean Life  
styleー地球環境に調和したライフスタイル  
の提案」、「Clean Microcosmos “Organo  
World”ー自然とのふれあいによる心の健康  
の提供」が掲げられた。現在は、グループの  
「行動指針」は、日本企業としては珍しく、  
細部にわたって具体的な項目として「商品の  
品質と安全性の確保」、「公正で自由な競争に  
基づく適正な取引」、「知的財産権の尊重」、  
「企業秘密の管理」、「安全保障貿易管理」、  
「輸出入関係法令の遵守」、「接待・贈答」、  
「国内外贈賄の禁止」、「寄付・政治献金規制」、  
「適時・適切な情報開示」、「インサイダー  
(内部者)取引の禁止」、「適正な経理処理、  
記録の管理」、「反社会的勢力との関係遮断」、  
「競争禁止」、「法令および社会規範の遵守」、  
「就業規則等の遵守」、「人権尊重・差別禁止」、  
「ハラスメントの禁止」、「健全な職場づくり」、  
「職場の安全衛生」、「プライバシーの保護」、  
「会社財産の適切な使用」、「情報システムの  
適切な使用」、「環境保全・保護」、「社会的責  
任の自覚」、「経営者の役割」が掲げられる。  
同業の栗田工業の「企業理念」は、「“水”を  
究め、自然と人間が調和した豊かな環境を創  
造する」であり、現在も継承されている。  
「企業ビジョン」は「水と環境の先進的マネ  
ジメント企業」、「経営指針」は「世界トップ  
クラスの水・環境事業」、「新しい事業の創  
出」、「技術立社」、「国内グループ総力の発

揮」、「人材強化」、「社会的責任の遂行」、「大  
切にする価値」として「公正・透明・誠実・  
安全・共生」が掲げられる。

カメラからいまでは各種精密機器のキャノ  
ンは、「企業理念」として「世界の繁栄と人  
類の幸福のために貢献すること、そのために  
企業の成長と発展を果たすこと」の下、「企  
業目的」を「国境を超え、地域を限定せず、  
しかも積極的に世界全体、人類全体のために  
社会的責任を遂行すること（真のグローバル  
企業の確立）」、「世界一の製品をつくり、最  
高の品質とサービスを提供し、世界の文化の  
向上に貢献すること（パイオニアとしての責  
任）」、「理想の会社をきずき、永遠の繁栄を  
はかること（キャノングループ全員の幸福の  
追求）」とし、「行動指針」として「国際人主  
義ー異文化を理解し、誠実かつ行動的な国際  
人をめざす」、「三自の精神ー自覚・自発・自  
治の三自の精神をもって進む」、「実力主義一  
常に、行動力（V）、専門性（S）、創造力  
（O）、個性（P）を追求する」、「家族主義一  
互いに信頼と理解を深め、和の精神をつらぬ  
く」、「健康第一主義ー健康と明朗をモットー  
とし、人格の向上につとめる」を掲げ、現在  
のキャノングループの「企業理念」は「共  
生」となっている。グループの「行動指針」  
として三自の精神である「自覚・自治・自  
覚」が示されている。自動車の洗車機、道路  
標示版などのエムケー精工の「社是」は簡潔  
に「Innovation Mind」を掲げ、現在はユニ  
ークな「コーポレートスローガン・ス  
テートメント」＝「その手があった！の一歩  
先」が示される。

窯業では、三菱グループでガラス製造の旭  
硝子は、「伝統精神」として「易きになじま  
ず難きにつく和の精神」、「企業理念」として  
「明日の豊かな社会づくりに貢献する価値創  
造企業旭硝子は、明日の豊かな社会づくりに  
貢献します。このため、創造性を重視し、革  
新的な技術を通じて、常に価値創造にチャレ  
ンジします」、「企業方針」＝「価値創造企業

にむけての6つの指針」として「ガラス・化学技術を中心とする複合的多角化企業をめざします」、「マーケティングとものづくりを大切に、絶えず技術革新と品質向上に挑戦します」、「長期的な視点から、各事業分野での優位性の確保と、収益性の向上に努めます」、「社員の働きがいとを尊重し、ゆとり・豊かさを増進します」、「環境保全、省資源、商品の安全性確保に積極的に取り組みます」、「社会貢献に努め、世界の人びとに信頼される企業市民をめざします」を掲げ、現在はグループの「ビジョン」は「Look Beyond」＝「将来を見据え」、「自らの領域を超えた視点を持ち」、「現状に満足せず飽くなき革新を追求し」となり、「伝統精神」も継承されている。

浅野スレートは、現在はアスクと合併し、エー・アンド・エー・マテリアルとなっているが、浅野スレート時代は、「社是」として「優れた建築材料を提供し、豊かな国づくりに貢献する」、「品質と信用を重んじ、顧客第一の姿勢に徹する」、「相互信頼を基盤とし、個性とチャレンジ精神を尊重する」、「時代に敏感な、よき企業人、社会人たるよう努める」が掲げられた。合併後の「経営理念」は「人に優しく、地球に優しい豊かな新世紀を作る企業でありつづけます」の下、「私たちは、安全で、安心でき、そして快適な場を創造する事業を通じて、生活環境と社会基盤の充実ならびに産業の発展に尽くします」、「私たちは、お客様の満足度を高めるとともに、様々な関係者（ステークホルダー）ならびに環境と社会に対する責任を果たし、皆様から信頼され尊敬されるようになります」、「私たちは、技術力、発想力ならびに意志の力をもって困難に挑戦し、それを克服することによって競争に勝ち残るとともに、社内に希望と活力を満ちし、そこに働く人々の幸せと働きがいを高めます」となっている。

ガラス容器の石塚硝子は、「社是」＝「誠実、努力、創造」の下、「経営理念」として「“信用第一”に心がけ社内外の信頼を得る」、

「“企業は人なり”の理念で人材の育成に努める」、「“最高の品質”を求め絶えず新技術を開発する」、「“革新と創造”に満ちた永続的発展をつづけ社会に貢献する」、「行動指針」として「つねに真実を語り約策を守って行動する」、「つねに足元を見つめその質を問い行動する」、「つねに上下左右の風通しを良くし明るく思いやりを持って行動する」、「つねに目標を高くおき失敗を恐れぬ勇気をもって行動する」、「つねに社会的関心を持ち広い視野のもとで行動する」を掲げ、現在もそのまま継承されている。セラミック製品の京セラは、会社以上に一代で世界的な企業を築いた創業者がよく知られる会社である。同社の「社是」は「敬天愛人一常に公明正大謙虚な心で仕事にあたり天を敬い人を愛し仕事を愛し会社を愛し国を愛する心」の下、「経営の理念」として「全従業員のもの心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」が掲げられ、現在も継承されている。

毛髪移植や美容関係のアデランスは、「社是」として『『お客様第一主義』、アデランスはお客様を大切にしお客様をよく理解しお客様とともに考え、そして、お客様の笑顔を最大の喜びとします」、「社訓」として「私たちは良い商品を提供することで豊かで健康的な生活の向上に貢献しよう」、「私たちは技術の向上とサービス精神とによりお客様によるこぼれるようになるよう」、「私たちは人格の形成に努め信頼を得ることで明るく健全な社会づくりに役立とう」を掲げ、現在の「経営理念」は従来の社訓に基づき「私たちアデランスグループの最大の使命は毛髪・美容・健康のウェルネスを通じて、世界の人々に夢と感動を提供し、笑顔と心豊かな暮らしに貢献することです」となっている。

印刷業についても、とりあげておこう。明治期創業の共同印刷は、「経営理念」として「創業の精神を想起し、つねに業界において生々発展して、その先導的地位を確立するた

め、人間尊重の指針のもと全員一致結束し、強固にして清新な企業体質を形成し、もって社会、文化に貢献するものとする」を掲げ、現在の「グループ経営理念」は「印刷事業を核に、生活・文化・情報産業として社会に貢献する」、「グループ基本方針」は「価値創造」、「成長」、「挑戦」であり、ほかに「めざすべき企業像」や「企業行動指針」も示されている。

#### 2-4. 建設業

日本には各地に大小さまざまな建設企業が存在する。民事再生など苦戦してきた建設業者もみられる業界である。青木建設（現青木あすなる建設）は、あすなる建設との合併前には「経営理念」として「青木建設とその関連会社は、建設事業及びその附帯事業の多角的展開を通じて、世界の経済発展と住民の福祉向上に貢献する」、「社是」として「より良い仕事」、「より早く」、「より安く」、「より安全に」を掲げていた。現在の青木あすなる建設は、「経営理念」として『『改革』・『スピード』・『ベクトル』3つのキーワードを主軸に『変化への挑戦』を経営の指針として、企業目的達成のために邁進します』を掲げる。新井組は「経営理念」＝「基本方針」として、現在も「新井組は、建設事業を通じて新たな価値を創造し、社会に貢献することを誇りとする。社会のニーズに豊かな発想で応え、企画力・技術力・組織力と誠実をもって、お得意の満足と信頼を得る。会社の繁栄を通じて、社員の幸福を実現する。社員の個性を尊重し、自由闊達で品位ある企業を目指す」が掲げられる。ほかに「行動指針」として「進んで学び議論を尽くす」、「知性と創造性を磨く」、「誠実」、「質実剛健」、「大いなる夢と志を持つ」、「明朗・活発・さわやかに」、「挑戦と革新」、「指導者・経営者としての自覚と誇りを持つ」、「公私の別を明らかに」、「鋭いビジネス感覚を持つ」が示されている。

明治期の創業で、日本の大手ゼネコンの一つであり多様な建造物を手掛けてきた大成建設は、「使命」として「人がいきいきとする環境を創造する」、「経営姿勢」として「生活者の発想をもって顧客の満足を得る」、「新しい価値の創造にまっ先に挑戦する」、「多様なものの見方、考え方を尊重する」、「人と自然の関係を大切にする」を掲げ、「使命」は現在のグループ理念として継承されている。ほかに、「大成スピリット」として「自由闊達」、「価値創造」、「伝統進化」が示されている。同様に老舗ゼネコンである鹿島建設は、「経営理念」として「全社一体となって、科学的合理主義と人道主義に基づく創造的進歩と発展を図り、社業の発展を通じて社会に貢献する」を掲げ、現在も継承されている。このほかに、長く参議院議員を務め、同社の会長でもあった鹿島守之助（1896～1975）が戦前に同社の役員となった際に社業発展のために「事業成功の秘訣20か条」を定めたことはよく知られている。参考までに紹介しておく。『旧来の方法が一番いい』という考え方を捨てよ、「絶えず改良を試みよ、『できない』といわずにやってみよ」、「有能なる指導者をつくれ」、「人をつくらぬ事業は亡ぶ」、「『どうなるか』を研究せよ」、「本を読む時間をもて」、「給料は高くせよ」、「よく働かせる人たれ」、「賞罰を明らかにせよ」、「なるべく機会を使うこと」、「部下の協力一致を計れ」、「事業は大きさよりも釣合いが肝心」、「なによりもまず計画」、「新しい考え、新しい方法の採用を怠るな」、「一人よがりな事を損ず」、「イエスマンに取り巻かれるなかれ」、「欠陥は改良せよ」、「人を怨まず突進せよ」、「ムダを見つける眼を開け」、「仕事を道楽にせよ」。大末建設は、「社訓」として「心身健全」、「和親協力」、「研究努力」、「創意実践」、「責任完遂」、「経営理念」として「我々大成建設は建設業を通じて豊かな人間生活に貢献し、誠実をもってお客様の信頼を得、若々しい情熱と行動力をもって限りない未来への可能性

に挑戦する」を掲げ、「経営理念」は現在も継承されている。

大林組は、「企業理念」として「1. 創造力と感性を磨き、技術力と知恵を駆使して、空間に新たな価値を造り出す。2. 個性を伸ばし、人間性を尊重する。3. 自然と調和し、地域社会に溶け込む、豊かな文化づくりに寄与する。これらによって、生活の向上、社会の進歩と世界の発展に貢献する」、「経営姿勢」として「顧客のニーズに応える」、「時代を先取りし、新たな需要を創出する」、「明るく活力ある集団とする」、「社会に貢献する」、「行動規範」として「自らを高める」、「常にチャレンジする」、「柔軟に考える」、「創造力と個性を発揮する」、「良き市民、良き国際人として行動する」を掲げ、現在の「企業理念」は『地球にやさしい』リーディングカンパニーの下、「優れた技術による誠実なものづくりを通じて、空間に新たな価値を創造します」、「地球環境に配慮し、良き企業市民として社会の問題解決に取り組みます」、「事業に関わるすべての人々を大切にします」である。ほかに、コンプライアンス関係の「企業行動規範」も制定されている。道路舗装の大林道路は、「企業理念」として「豊かな生活環境の創造に向けて地域社会と共に歩み人間尊重の経営を行います」、「経営姿勢（規範）」として「人々の期待に応え時代を先取りした技術力により新たな価値を創ります」、「創造力豊かな人を育て柔軟な組織のもとで生き生きとした職場を創ります」、「良き企業市民として社会と文化の発展に寄与します」、「行動規範」として「高める能力」、「豊かに発想」、「たゆまぬ挑戦」、「ひろげる理解」、「良き市民、良き国際人」が掲げられ、現在も継承されている。

飛鳥建設は、「社訓」として「我が社は建設工事を通じ国民経済の発展に寄与するの誇をもつとともに常に企業者に対する感謝奉仕の念を忘れず全社協力一定優秀且低廉なる工事の速かなる安全施工を期す」を現在も掲

げ、このほかに創業者の飛鳥文吉（1876～1939）の「創業精神」＝「利他利己一己の利を計らんと欲せば己の利を後とし、これを犠牲としてまず相手の利を計れ。相手に提供した自分の犠牲は己の努力と創意工夫をもって補え。これが自他共に繁栄し、ひいて究極は必ず己の利となる結果をもたらす」がある。「明治40年の創業以来、何よりも『信頼』を大切にし、堅実で調和のとれた建設会社として、社会の発展に寄与する」を掲げた奥村組は、現在、「経営理念」として『堅実経営』と『誠実施工』を信条に、社会から必要とされる企業として、社業の発展を通じ広く社会に貢献する」を掲げる。大本組は、「社是」として「安全第一」、「技術と信用」、「誠実と努力」、「経営の健全」、「社訓」として「信用を第一とし、誠実で迅速な施工に徹しよう」、「常に技術の向上に勉め、創意と計画性をもって仕事に当ろう」、「責任感と相互信頼のうえに結ばれよう」、「健康と安全に留意し、明るい職場にしよう」、「進取と不撓不屈の伝統に生きよう」を掲げ、現在も継承されている。「経営基本方針」としては「有能で活力ある人材の確保・育成」、「技術開発と技術力の強化」、「健全な財務体質の強化」が示される。戸田建設は、「社長現場訓」として「1. 今日一日無駄をはぶき親切を旨としてよい仕事を致します。2. 今日一日期限には絶対遅れない様心掛けしましょう。3. 今日一日誓って事故を起さ無い様注意致しましょう。以上遂行の為常に研鑽怠らず吾人の技術を最高度に導く様努力しましょう」を現在も継承している。

鉄建建設は、「社是」として「信用と技術」、「経営理念」として「わが社は信用と技術を基本として安全で機能的な人間性あふれる環境を提供し会社の成長と従業員の福祉の増進をはかり社会の繁栄に貢献する」、「コンセプトワード」として「人間味あふれる環境創造のコンダクター／TEKKEN」を掲げ、現在も継承する。マンション建設の長谷工コーポ

ーレーションは、「私たちのグループ理念」として「都市と人間の最適な環境創造を通して社会に貢献する一都市環境創造産業、建設、不動産とそれに関わる流通、販売、サービスに取り組む私たち長谷工グループにとって、都市こそ私たちの対象とする場であり、またそこに課せられた使命です。この都市と人間の理想的な環境の創造と提供が来たるべき21世紀への私たち長谷工グループの役割であると考えます」、「私たちの行動指針」として「最良の品質と最善のサービスを提供しよう」、「誠意を尽くして仕事にあたり、信用をかちとろう」、「創意と信念をもって、新しい世界に挑戦しよう」、「業務のより良いあり方を求めると共に、自己の向上と実現をはかろう」、「人間性尊重の精神をもとに、力を合わせて社業を発展させよう」、「私たちのグループスローガン」として「都市への気持ちがひとつです。私たち長谷工グループがこれからめざすもの、その熱い心と決意をひとつの言葉にしました。このスローガンは……価値ある素晴らしい都市の創造に参加する人々と心をひとつにし、豊かで快適な都市生活を望むすべての生活者と心をひとつにし、グループ社員一人ひとりのここをひとつにして、新しい都市環境創造へ向かう長谷工グループの姿を、社会やお客さまに宣言するものです」を掲げた。ユニークなのは、サミュエル・ウルマンの「青春」から「私たちの心の礎」として「人は信念と共に若く、疑惑と共に老ゆる、人は自信と共に若く、恐怖と共に老ゆる、希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる」である。通信インフラや電気・土木・環境インフラの構築や保守の協和エクシオは、「企業理念」として「技術力を培う」、「豊かさ求める」、「社会に貢献する」を現在も掲げる。

住宅建設では三井ホームは、「社是」として「わが社は人を活かし、人を育てる社風を重んじ、不断の研鑽により優れた住宅を創る」、「社訓」として「たゆまぬ努力で人格、

識見を磨く」、「進取の心で顧客の声を聴く」、「優れた商品と奉仕の心で信頼を築く」、「関連組織と一致協力し総合力を高める」を掲げ、現在の「三井グループステートメント」は「暮らし継がれる、よろこびを未来へ」、「ミッション」は「私たちは、お客様の満足を第一と考え、永く愛されるすまいと暮らしを提供します」、「私たちは、人にやさしく、性能に優れた木を活かし、地域環境に貢献します」、「私たちは、グループの総合力を高め持続的な成長と革新を追求します」、「私たちは、一人ひとりが夢と高い志を持ち、相互の力を結集し、暮らし継がれるよろこびを実現します」となっている。

平成14〔2002〕年に民事再生法を申請し、新築住宅部門を他社に譲渡し、現在はリフォーム事業を中心とする殖産住宅相互（現殖産住宅）は、「わが社の使命」として「日本の伝統的建築の良さの追求と新しい技術の開発によって、住生活に関するあらゆる商品とサービスを適正な価格で提供し、お客様の夢を実現することにより社会に貢献する」を掲げ、現在は、「コンセプト」として「先端設備と確かな技術で『オンリーワンのリフォーム』をご提案します」の下、「質（さらに上質な暮らしを求めるリフォーム）」、「実（誠実に、確かな技能を駆使するリフォーム）」、「剛（衝撃に自身のある高性能のリフォーム）」、「建（家族の健康を考えた体に優しいリフォーム）」を導入している。北海道札幌市の寒冷地の外断熱工を得意とする土屋ホームは、「使命感」として「豊かさの人生を創造する土屋グループ」の下、「5つの誓い」として「私たちは誠心誠意をモットーに相互研鑽することを誓います」、「私たちは住まいづくりを通し新しい人生を約束することを誓い舞う」、「私たちは3ムダラリを追放し財産管理の一助となることを誓います」、「私たちはお客様を我ことと常にか共に歩むことを誓います」、「私たちは礼儀礼節を大切に基本動作の錬磨に努めることを誓いま



す、「経営方針」として「わがグループは住まいコンサルタントを使命とし、住まいに関する知識の啓蒙により業界の社会的地位の向上、取引の事故防止、住宅建設及び財産管理の一助となることを目的とする」、「社是」として「顧客に奉仕すること」、「社会に貢献すること」、「会社を繁栄させること」、「社訓」として「誠実と責任」、「信念と努力」、「協調と団結」、「行動の基本方針」＝「顧客第一主義の徹底と一人当たり生産性の向上」として「超一流企業を目指す基本動作の修練と自己啓発」、「行動第一主義のセールス精神と、全社員セールス体制の確立」、「現場実務員の言動教育とデザイン、ソフト、技術力の錬磨」、「各種マニュアルの徹底と妥協をゆるさぬ業務の遂行」、「全員の心と力を結集した顧客の感動を呼ぶ家づくり」を掲げ、「使命感」が現在も継承されている。

愛知県刈谷市で創業された東建コーポレーションは、「社是」として「正義・友愛・前身」、「経営理念」として「土地利用を通じて地域と協調する確かな建築の創造とお客様との共栄を実現する。既存概念や枠にとられない柔軟な企業体をめざし、そこから生まれる情報や技術を社会に還元し、総合建築企業としてより一層の飛躍を目指す」と掲げ、「社是」は現在もグループとして継承されている。現在の「経営理念」は「経営思想の統一と経営方針の確立」、「現状の環境を認識した経営戦略の策定」、「全社員参加による経営計画の立案」、「適時適切な人材教育と能力開発」、「現場主義の発想と五大成果管理」、「使命感と責任感で顧客第一主義の完遂」、「寄与に応じた経営成果の配分」である。

下水道などインフラ工事を得意とする南野建設は、「社訓」として「私たちは意識・知識・組織を全うし社会に貢献する企業体を創造する。意識とは『いま何が必要か』を問題提起することである。知識とは提起された問題を解決する潜在力である。組織とは潜在力発揮のための集団的機動力である」を掲げ、

現在も継承されている。江戸期に三河の材木商から個人住宅やマンション建設を中心としたものの、リーマンショックの影響を被った三平建設（現新三平建設）は、「経営理念」として「先見性、積極性、創造性豊かな社風を構築し顧客との相互信頼に基づく事業を展開、会社の繁栄を通じて社会に貢献する」、「社訓」として「信用第一」、「責任完遂」、「技能向上」、「創意工夫」、「積極果敢」を掲げ、現在の新会社へも継承されている。近代建築とともに重要文化財の修復・保存工事にも実績を残す藤木工務店は、「経営理念」として「企業の信用は健全経営より生まれる」、「顧客第一主義に徹することが、未来への限りなき発展を約束する」、「結束して挑戦する集団が業務を生み、社員の成長が企業の発展を生む」、「変化に対応して業際を拡大する」、「誠意と幅広い技術が顧客の安心を創造する」を掲げ、現在も継承されている。

電気工事で関西電力系のきんでんは、「社是」として「和と明朗」、「研究と努力」、「誠実と奉仕」を掲げ、「三訓」として「家族団結」、「地下百尺の精神の発揮—我が家業は縁の下の力持ち的の事業なり、全員之に甘んじ黙々工事報告に邁進するを要す」、「責任感の徹底」、「三字戒」として「誠、根、努」が掲げられ、「社是」は現在も継承されている。現在の「企業理念」は「私たちは、優れた設備とサービスを創造し、社会のインフラを支え、明るく豊かな未来の実現に貢献します」である。創業60周年にあたる平成16[2004]年に制定された「行動指針」は、その後、7回にわたり改定されてきている。

陸上だけではなく海洋土木を得意とする東洋建設は、「経営理念」として「夢と若さをもって全員一致協力し、新しい豊かな技術で、顧客と社会公共に奉仕することに努め、会社の安定成長と従業員の福祉向上を期する」として、3項目「人間成長一人を鍛える、個性と長所を生かす」、「創意革新—変化に適応する、常に新たな発想をする」、「責任自覚

一目標と責任を明確に、常に率先垂範する」を現在も掲げる。矢作建設工業は、「企業理念」として「よりヒューマンな活動の場の創造—YAHAGIは、地球サイズの視点に立ち、都市と自然と人間の調和を常に考えながら、人々が真に暮らしやすく創造的に活動できる高付加価値空間を提供する。もっと素敵な未来にむかって—YAHAGIは、高付加価値空間の提供を通じて、社会の活力を引き出すとともに、もっと人間らしく生きたいという人々の創造性あふれる未来の実現に貢献する。繊細にして大胆なる高感度行動派集団—YAHAGIは、社員ひとりひとりが、常にヒューマンな視点で人々と社会のニーズを敏感かつ繊細にとらえ、その実現のための自らの行動力を全開で発揮する集団である」、「スローガン」として「Movin' —都市へ自然へ人間へ」を掲げ、現在は「企業理念」として『誠実・進取・創造』—誠実進取で自ら創造し、常に社会の要請にこたえる事業を行う」、「経営理念」として「建設エンジニアリングによる価値創造を通して、従業員の自己実現と企業の持続的成長を目指す」を掲げる。

中堅ゼネコンの東亜建設工業は、「社是」として「高い技術をもって、社業の発展を図り、健全な経営により社会的責任を果たす」、「三則」として「着実な計画経営により競争に打ち勝つ」、「誠実な施工で永い信用を築く」、「個人の能力を伸ばし組織の力を生かす」、「五訓」として「まず、その道のエキスパートを目ざせ」、「仕事のポイント、タイミングを外すな」、「仕事には、日々改善の余地が生ずると思え」、「常に自分の意見を持って、示せ」、「議論を尽くせ、結論は責任をもって実行せよ」を掲げ、現在も継承されている。明治創業の古久根建設は、「社訓」として「努力—日々の業務に努め、励め、かりそめに陰日向の行いがあってはならぬ」、「反省—我身を顧みて、恥じることはないか。お互いに助け合い、協調性を発揮しよう」、「希望—誠実と勇気をもって事を処せば明日の幸福と

繁栄を必ずえられる」、「経営基本方針」として「当社の基本目標は、建設業たる使命に徹し、建築物、構築物を兼且つ迅速に当社の卓越せる技術をもって建設し、企業としての適正利潤を確保し、これにより投下資本に対する配当、更に社内留保に増大し、企業としての永続繁栄をはかり、従業員の生活を確保安定させ、将来に向かって、一層の発展を期し、関係する全てに希望を持たせると共に社会に貢献することである」を掲げた。三重県の土木、建築、個人住宅の日本土建は、「社訓」として「社会貢献」、「協調と責任」、「人格の向上」、現在、「顧客満足」、「問題解決」、「社会貢献」、「革新」、「知力」、「独自性」の「経営理念」を掲げている。

NTT関係の電気通信設備工事の広島建設工業（現ソルコム）は、「わが社は、最良の設備と最良のサービスを提供する総合エンジニアリング企業として人間尊重を基底に、すぐれた技術力、すぐれた創造力、すぐれた感性によって豊かで幸せな社会の実現に貢献する」を掲げ、現在（他企業と合併後）は「企業理念・行動指針」として『お客さまからの信頼』を最優先に、時代の変化に即応し、先進の技術と豊かな創造力により、地域社会の発展に貢献します」、「経営目標」として「ソルコムグループの企業価値向上のため、『安定成長』を目指す」、「地域の企業としての強みを活かし、『真に頼られる会社』を目指す」、「時代の変化に対応できる『人と仕組みづくり』を目指す」、「行動指針（ソルコムマインド）」として「誇りある社員・社会人として『倫理・行動規準』に基づき行動しよう」、「当事者意識をもって、『私がやります』『協力します』を実践しよう」、「対話を原点に、活力ある職場をつくり、『明るく、楽しく』働こう」を示す。

もうすぐ創業100年を迎える前田建設工業は、「社是」として「誠実—事業をやっていくからには儲けなければならない。だが、儲けることばかり考えていたのでは事業は永続

しない。そこに真心があり、取引先と心の触れ合いがあってこそ事業は永續し、発展する。『誠実』が事業の根本である、「意欲—仕事、それは自分との戦いである。技術にしても、価格や工期にしても負けないという自負心や、打ち克たねばならぬとして己を鞭打つ『意欲』に欠けては仕事は出来ない。要は“やる気”である。『意欲』それは仕事においても、人生においても不可欠な心の糧である」、「技術—前田は『技術』を売る会社である。工事の出来栄えをひと目見れば、これは前田がやったのだということが判るような仕事でありたい。他人のまねをするより、他人がまねたがる『技術』それが我々の売物である」を現在も掲げる。ダムなどの基礎工事を中心とする日特建設は、「社是」として「日々是進歩」、「社訓」として「安全第一」、「信用確立」、「技術発展」を掲げ、現在の「経営理念」は「使命（Mission）—安全・安心な国土造りに貢献する会社」、「価値観（Vision）—基礎工事における総合技術力と効率的な経営」、「あるべき姿（Vision）—信頼される技術力に培われた、環境・防災工事を主力とした基礎工事のエキスパート」である。

「快適環境創造企業」の大和設備工事は、「社是」として「大和を永遠に繁栄させる」、「経営者と社員は物心共に豊かになる」、「左右のイデオロギーにかたよらず社会に貢献できる自由闊達な環境をつくる」、「社訓」として「お客様に喜ばれる仕事（施工）をする」、「互いに仲良くして責任を果たす」、「合理化につとめ生産性の向上をはかる」、「勉学に励み積極的に行動する」を掲げ、現在の「企業理念」は「地球との共生を原点に大和設備の快適への思想 It's AMEDIA（Amenity Idea Systems）」の下、三項目の「Amenity Life（快適な暮らしを考える）」、「Advanced Technics（先端技術を考える）」、「Active Works（積極的な活動を考える）」である。中堅ゼネコンの植木組は、「企業理念」として「明日を創造—私たちは、大地と海と都市

空間に、豊かで潤いある人間環境を創造します。常に挑戦—私たちは、限りない知恵と情熱を結集し、新たな可能性に挑戦します。一緒に感動—私たちは、お客様の心に響くサービスを誇りとし、働く感動と人生の幸せを追求します」を掲げ、現在も継承されている。

JR東日本グループで鉄道電機工事などの総合電気工事の日本電設工業は、「社是」として「明朗」、「親和」、「技能」、「錬磨」、「誠実」、「奉仕」、「綱領」として「我等は常に愛社の精神に徹し、社運の興隆をはかろう」、「我等は常に相互の神話に努め、職場の明朗をはかろう」、「我等は常に身心の鍛錬に努め、職責の完遂をはかろう」、「我等は常に技能の錬磨に努め、業務の改善をはかろう」、「我等は常に誠実奉仕に努め、信用の増大をはかろう」を掲げ、現在の「基本理念」は「お客様本位の精神で安全・確実な業務の遂行により顧客の信頼を高め、新たなテクノロジーの創造をとおして社会に貢献する」である。土木建設工事などのコンサルタント業務の建設技術研究所は、「経営理念」として「時代のニーズを先取りし、広汎な技術を多角的に活用して、建設コンサルタントとしての使命を果たすことにより、社会の発展に寄与するとともに、会社の健全な発展と社員の生活向上をはかる」を掲げ、現在は「世界に誇れる技術と英知で、安全で潤いのある豊かな社会づくりに挑戦する」へ引き継がれている。ほかに「行動憲章」として「顧客満足度の向上」、「技術力向上と品質向上」、「倫理・法令の遵守」、「情報の開示」、「社員満足度の向上」、「環境への配慮」、「社会貢献」、「国際貢献」が示されている。社名が土木建築用エポキシ樹脂の「ショーボンド」から来ているコンクリート製の構造物の補修・補強のショーボンド建設は、「社是」として「熟慮して決断」、「行動への責任」、「統一ある職場」、「社会への貢献」を掲げ、現在も継承され、具体的には「客先や社会が求める品質を正しく理解し、客先の満足する商品を一貫し

て提供する」、「客先のニーズに応えるため、社員一人一人が技術の確保・向上を目指す」、「客先の満足する商品を提供するため、品質目標を定め展開し、その有効性を維持するため継続的な改善を行う」となっている。

建設に不可欠な航空測量のアジア航測は、「事業は人が創る新しい道である。常に勇氣と独創心を持って開拓し前進しよう」、「事業は永遠の道である。まず十年の計を確立しよう」、「事業は技術に始まる。常に新技術の開発に努力しよう」、「事業は人格の集大成である。まず自己の完成につとめ、アジアの社風を確立しよう」、「事業は社会のために存続する。測量の公共性を自覚しよう」を掲げ、現在はグループの「役職員行動規範」の「法令の遵守・自己研鑽・人権の尊重」、「職場環境」、「労働安全衛生」、「独占禁止法および下請法の遵守」、「利益相反行為および公私の区別」、「贈答・接待」、「会社情報、個人情報の取り扱い」、「会社資金と会計報告」、「社会貢献」、「環境保全」、「反社会勢力への対応」、「研究開発活動」、「報告および処分」が示される。このなかでも、同社のように「独占禁止法および下請法の遵守」を挙げる企業は多くはないなかで、注目される。同業者との談合や協会会社などへ「優越的地位の濫用」の防止が強く意識されている。住宅建材や住宅設備機器の卸と施工業のアベルコは、「事業領域」として「快適な空間づくりのためのシステムとサービスの提供」、「存在意義」として「快適な空間づくりを通して、美しい社会の創造に寄与します」、「経営姿勢」として「仕事を通じて常に新しい提案を行い、理解と共感の輪をひろげます」、「信頼される経営によって、会社の堅実な発展を目指します」、「行動規範」として「私たちは、お客様の立場になって、ともに協力し、敏感に対応し、進んで挑戦します」を掲げ、現在の「企業理念」は「企業のところが全ての社員のところと同じであるために」であり、「存在意義」、「経営姿勢」と「行動規範」はそのまま継承

されている。

## 2-5. 商業

食品卸売業の加藤産業は、「社是」として「能力を啓発し機能を充実し製版両層にとって最も価値ある存在として周囲の人々の生活を豊かに実らせ其處に社会性を有する企業として永遠の発展を築きあげる」、「企業スローガン」として「より豊かなくらしづくりのために絶えず卸売機能の革新をめざし、製版のジョイント(=Joint)を通じて、最適な流通をクリエイトします」、「基本ビジョン」として「=「3S(成長・進化・最高)企業の実現」として「成長する=社会に貢献し、評価の獲得によって収益の向上を保持する」、「進化する=変化対応への積極姿勢を保持する」、「最高の=市場の中で最も価値ある存在であり続ける」が掲げられ、現在の「ミッション(当社グループが目指す社会的使命)」は「私たちのミッションは、『豊かな食生活』を提供して、人々の幸せを実現すること。私たちの全ての活動・取組みは、このミッションの達成を目指す」、「食の生産の源となる自然の恵みを大切に、誰でも、安全で安心な商品が手ごろな価格で手に入り、季節性・地域性に富んだ多様な職を楽しみ、食文化を継承し、育むことで家族の団らん・人々の絆を強め、健康で健全な生活に貢献するような、『豊かな食生活』を提供し、人々の幸せを実現することです」となっている。

愛知県内の地域密着型のアオキスーパーは、「社是」として「一品一品心して、一に二にもお客様の満足」、「経営理念」として「感謝と奉仕」を掲げ、現在も継承されている。首都圏を中心に関東で店舗を持つスーパーのいなげやは、「社是」として「株式会社いなげやは販売を通じ、広く世の中に奉仕し会社の発展と従業員の幸せを常に一致せしむる事をもって社是とする」を掲げ、現在はドラッグストアなどの関連会社を含めたいな

げやグループの「経営理念」として「すこやか  
かくの実現—お客様の健康で豊かな、暖かい  
日常生活と、より健全な社会の実現に貢献す  
る」、「商人道の実践—お客様のお喜びを、自  
分自身の喜びとして感じる事ができる人間  
集団」が掲げられている。「よい品をどんど  
ん安く、より豊かな社会を—For the Cust  
omers」を掲げてきたダイエーは、現在、  
バブル経済崩壊後の経営危機からイオング  
ループの一員である。現在は「存在義」とし  
て「いつも発見があるうれしい売場を、いつ  
も笑顔がある活気にあふれた店を。私たち  
は、お客様とともに毎日のお買い物の楽しさ  
を大切にします」が掲げられている。愛知県  
で創業されたユニーは、5項目の「経営理念」  
＝「顧客のよりよい生活実現のために奉仕す  
る」、「全員の意志が反映された、働きがい  
のある職場をつくる」、「効率と公正を基本に、  
弾力的な組織運営により明日を創造する」、  
「正しいことを信念をもってやりぬく社会人  
を育成する」、「相互信頼に基づく総合力の発  
揮によって、永遠の発展を期する」を掲げ、  
現在、ユニー・ファミリーマートホールディ  
ングの「企業理念」＝「くらし、たのしく、  
あたらしく—常に新しい価値を創り出し、毎  
日の暮らしをより新鮮で楽しいものに、一人  
ひとりの気持ちにこたえていくことで、私た  
ちは、お客さまからもっと身近で信頼される  
存在を目指します」が掲げられている。熊本  
県のスーパーで民事再生法適用申請で実質上  
の倒産となったニココ堂は、「ニココ堂  
の理念」として『よい品をより安く』お客  
様に提供し、お客様の生活を『より豊かに』  
することを経営理念とします。これはまた、  
全従業員の仕事に対する『喜び』でもありま  
す」を掲げていた。

百貨店業界では伊勢丹は、「伊勢丹企業理  
念」＝「根本精神」として「道義を守り、奉  
仕の心を持つ、企業経営」、「企業スローガ  
ン」として「毎日が、新しい。ファッション  
の伊勢丹」、「企業ビジョン」として「伊勢丹

は、人々と、ともに感じ、ともに考え、とも  
に喜び、明日の暮らしを創造する。お客様と  
は、『感性と科学』を共有し—、従業員とは、  
生きがいのある職場をつくり—、株主には、  
ゆたかな実りで報い—、お取引先とは、共存  
共栄をはかり—、地域社会には、良き市民と  
して行動し—、お互いに信頼し、信頼される  
関係を築く」、「企業の姿勢」として「私たち  
は『お客さま第一』から出発し」の下、『質  
の高い満足感』をさしあげる、最良の品ぞろ  
えとサービスをいたします」、「『健全な企業  
体質』を保っていくために、一人一人が努力  
します」、「『あたらしきへ挑戦』し、現状に  
満足せず、勇気をもって仕事にあたります」、  
『良識ある社会人』として、高い倫理観と美  
しい心をもって行動します」、「『かけがえ  
のない環境』を守り、それを次の世代へつたえ  
ていくよう努めます」を掲げた。伊勢丹は、  
現在、三越百貨店と三越伊勢丹グループを形  
成し、「グループスローガン」として簡潔に  
「向きあって、その先へ」の下、「グループの  
姿勢」として「真摯に、しなやかに、力強  
く、向きあいます」、「グループ・ビジョン」  
として「常に上質であたらしいライフスタイル  
を創造し、お客さまの生活の中のさまざまな  
シーンでお役に立つことを通じて、お客さ  
ま一人ひとりにとっての生涯にわたるマイデ  
パートメントストアとなり、高収益で成長し  
続ける世界随一の小売業サービスグループと  
なる」を掲げる。三越伊勢丹ホールディン  
グス翼下の福岡県の岩田屋は「社是」として  
「誠実奉仕、良品正価」を掲げていた。

「先義後利」を掲げてきた大丸は、現在、  
松坂屋とJフロントリテイリンググループを  
形成する。古くは「諸悪莫作、衆善奉行」と  
「人の利するところにおいて、われも利する」  
という社訓を掲げてきた松坂屋は「企業理  
念」＝「基本理念」として「私たち松坂屋  
は、地球の人々との信頼を深め、社業の発展  
を通じて、豊かな生活文化の創造に貢献しま  
す」、「経営理念」として4つのタイプの企業

像を提示した。「地域社会・貢献企業—公正な企業活動により社会的使命を果たし、地域社会に貢献する」、「生活文化・創造企業—顧客の満足を第一に、最良の商品と最善のサービスを提供し、価値ある生活文化を創造する」、「未来と夢・挑戦企業—未来をみつめ、進取の精神と果敢な行動をもって社業の発展に挑戦する」、「人間賛歌・実現企業—自由かつ達に、働く喜びと誇りを共有する、人間賛歌の企業風土を実現する」である。「行動指針」として「ひろい視野をもち、創意を發揮し自ら行動しよう。あふれる熱意のもと、誇りと責任をもって行動しよう。いつも感謝の気持ちで誠意をこめて行動しよう」が示された。現在のJフロンティアの「グループ理念」としては、「私たちは、次代の変化に即応した硬質な商品・サービスを提供し、お客様の期待を超えるご満足の実現を目指します」が掲げられている。松坂屋と同じ名古屋の老舗百貨店の丸栄は、親会社の医薬品製造の興和の方針もあり、百貨店業から徹底することになっている。同社がかつて「綱領」として「丸栄発展のため全員一致協力しよう」、「常に規律ある態度で誠意ある行動をしよう」、「企画力を涵養し積極的な業務の推進をはかろう」、「優秀な商品を正しい価格で提供しよう」、「百貨店の社会的使命を認識して顧客に奉仕しよう」を掲げた。

横浜の呉服店から百貨店となった松屋は、現在も「生活文化創造集団」グループの「経営方針」として「顧客第一主義」、「共存共栄」、「人間尊重」、「堅実経営」、「創意工夫」を掲げている。電鉄系の百貨店の阪急百貨店は、現在では同じ電鉄系の阪神百貨店と合併して阪急阪神百貨店はエイチ・ツー・オー・リテイリングとなっている。阪急百貨店時代は、「私たちの一番大切にしている価値観」として「私たちは、生活者の『夢』を追求し、実現し続ける『元気』企業です」を掲げた。現在のエイチ・ツー・オー・リテイリングの「グループ企業理念」は「地域住民への生活

モデルの提供を通して、地域社会になくなくてはならない存在であり続けること」を掲げている。

総合商社では伊藤忠商事は、海外事業を意識して英文表記の「The ITOCHU Credo」として「ITOCHU Committed to the Global Good. 豊かさを担う責任。Economic Benefits, Societal Benefits, Individual Benefits」を掲げ、「ITOCHU Mission」として「Committed to the Global Good」は継承され、「伊藤忠グループは、個人と社会を大切に、未来に向かって豊かさを担う責任を果たしていきます」となっている。ほかに「企業行動基準」＝「ITOCHU Value」として「先見性 (Visionary)」、「誠実 (Integrity)」、「多様性 (Diversity)」、「情熱 (Passion)」、「挑戦 (Challenge)」が示される。住友商事は、住友グループの一員として「住友の事業精神」＝「我住友の営業は信用を重んじ確実を旨として以て其の鞏固隆盛を期すべし」、「我住友の営業は時勢の変遷理財の得失を計り弛張興廢することあるべしと雖も苟も浮利に趨り軽進すべからず」の下、「私たちは、常に変化を先取りして新たな価値を創造し、広く社会に貢献するグローバルな企業グループを目指します」を現在も掲げる。「経営理念」として、「企業使命—健全な事業活動を通じて豊かさと夢を実現する」、「経営姿勢—人間尊重を基本とし、信用を重んじ確実を旨とする」、「企業文化—活力に溢れ、革新を生み出し企業風土を醸成する」、「行動指針」として「住友の事業精神のもと、経営理念に従い、誠実行動する」、「法と規則を守り、高潔な倫理を保持する」、「透明性を重視し、情報開示を積極的に行う」、「地球環境の保全に十分配慮する」、「良き企業市民として社会に貢献する」、「円滑なコミュニケーションを通じ、チームワークと総合力を發揮する」、「明確な目標を掲げ、情熱をもって実行する」が現在も継承されている。

兼松は「創業主意」として「わが国の福利

を増進するの分子を播種栽培す」の下、「われらの信条」として「伝統的開拓者精神と、積極的創意工夫をもって業務にあたり、適正利潤を確保し企業の発展を図る」、「会社の健全なる繁栄を通じて、企業の社会的責任を果たし、従業員の福祉を増進する」、「組織とルールに基づいて行動するとともに、会社を愛する精神と、社内相互の人間理解を基本として、業務を遂行する」を現在も掲げる。川鉄商事（現JFE商事）は「経営理念」として「グローバルな視野に立ち、いきいきとした商社活動を展開し、豊かな社会の実現に努力する」、「経営方針」として「鉄鋼事業は、総合力でNo.1を目指す」、「新しい開発型商社を目指し、製造業から生活産業までのトータルコーディネータになる」、「働きがいのある明るい企業風土をつくる」、「行動規範」として「誠実をつらぬき、信用を高めよう」、「変化を先取りし、時代のニーズに対応できる感度を高めよう」、「知恵と勇気をもって新しい仕事にチャレンジしよう」が掲げられ、JFEグループの「企業理念」としては「常に世界最高の技術をもって社会に貢献します」、「行動規範」として「挑戦、柔軟、誠実」、「行動規範」として「良質な商品・サービスの提供」、「社会に開かれた企業」、「社会との連携と協調」、「グローバル化」、「地球環境との共存」、「政治や行政との関係」、「危機管理の徹底」、「人権の尊重」、「働きがいのある職場環境」、「法令の遵守」が掲げられる。

専門商社にもふれておこう。鉄鋼・機械などの専門商社の岡谷鋼機は、『時代を先取りした商社機能を創造する』ことによって、感性豊かな提案型商社を目指す」を掲げ、現在の「経営理念」は「世界市場において、ものづくりに貢献する感性豊かな“グローバル最適調達パートナー”を目指します」となっている。医療用医薬品の名古屋市のスズケン は、医療関係の企業の多くが鍵用語として採用する「健康」取り込んだ「経営理念」が多い中で、「良き家庭人」や「自己実現」のユ

ニークな表現もみられる。すなわち、「新しい価値の創造により地球の健康とすべての人々の健康で豊かな生活に貢献する。良き企業市民として社会的責任と株主への責務を果たす。社員は良き家庭人となり、会社は社員の自己実現の場となる」。ほかに、「経営基本方針」として「お得意さまのニーズにお応えしていく」、「お得意さま志向の経営」、「全員参加の経営」、「人間尊重の経営」、「経営基本目標」として「研究」、「開発」、「生産」、「流通」、「人的管理」、「知的資源」、「物的資源」、「健康管理の開発と流通のグローバルな展開」、「行動指針」として「誠意」、「革新」、「一緒にやりましょう」が掲げられ、「経営理念」、「経営基本方針」や「行動指針」は継承されている。現在は、スズケングループの「経営理念」としては、「健康創造」が打ち出され、「ミッション（存在意義・使命）＝『健康創造のスズケングループ』は、グループの英知を集め、全ての人々の笑顔あふれる豊かな生活に貢献し続けます」、「ビジョン（将来の理想像）＝『健康創造のスズケングループ』は、健康に関わるさまざまな領域で、新しい価値を創造することに挑戦し、全ての人々の笑顔を応援するベストパートナーを目指します」、「バリュー（行動基準）＝「誠意（Sincerity）と倫理観（Morality）をもって独自性（Identity）を生かしお得意さまに学ぶ（Learning）心で進化（Evolution）をし続けます」が掲げられる。「スズケングループメッセージ」は「すべての人々の健康で豊かな生活を創造する」の下、「Design Your Smile—健康創造のスズケングループ」が示される。農畜産物など食品商社の太洋物産は、豊臣秀吉の軍師であった黒田官兵衛（1546～1604）の「水五訓」である「自ら活動して他を動かすものは水である」、「いつも自分の進路を求めて止まないものは水である」、「障害に遭って激しその勢いを百倍するものは水である」、「自らを清くし、他の汚濁を洗い、しかも清濁合わせ容れ

るものは水である」、「洋々として大海を満たし、群っては雲となり雨と変り、凍っては氷雪となる。しかもその性質を失わないものは水である」を掲げてきた。

電子部品などの専門商社である協栄産業は、「経営理念」として「エレクトロニクス分野を通して 高い品質と優れた技術に基づいた価値ある製品・サービス・情報を提供することにより 愛とゆとりのある社会の実現に貢献します」を掲げ、現在も継承されている。ほかに、先端技術分野や取引先との信頼関係などを強調した「企業方針」や「行動規範」もあり、その後も骨子は継承されている。現在は「専門性と機動力」による新たな付加価値やビジネスの創造というメッセージが示されている。工作機械など産業機器や家庭用機器の専門商社である山善は、「経営理念」として「人づくりの経営一人を活かし、自業員を育成する」、「切り拓く経営—革新と創造に挑戦する」、「信頼の経営—期待に応え、社会に貢献する」、「自主自律の考動指針」として「基本と原則を守り能力の開発と向上に努めます」、「使命と責任を果たし相互信頼の絆を深めます」、「活力にあふれた行動で明るい職場をつくります」、「社是」として「一流の品格」、「一流の営業」、「一流の環境」、「座右銘」として「感謝」、「積善」、「忍耐」、「励闘」、「結合」を掲げ、「経営理念」と「自主自律の考動指針」は現在も継承されている。

工業用計測器、環境計測・分析機器などの専門商社である英和は、「社是」として「和親協力を旨として、誠意を以て職務に努力精励すること」、「経営理念」として「事業は人なり、人は和なりを原点として事業を通じ会社の繁栄、社員の福祉、株主の利益、取引先との共存共栄の維持を図りつつ社会に奉仕貢献すること」、「社訓」「英和五訓」として「お客さま第一に徹し、期待と信頼を受けつつ共栄に努めること」、「仕事の効率を高め、企業の永続発展に必要な収益向上に努めるこ

と」、「常に会社の方針、決りを守り、孔子を混同せず、協調融和に努め、明るく働きたいのある健全な職場作りに努めること」、「たえず時代の変化に対応し、計画、実施、反省を繰り返す、堅実と積極を信条に創造と開発に努めること」、「常に夢と若さを抱きつつ、自己の啓発と健康の維持管理に努めること」を掲げ、現在はコンプライアンスを強調したグループの「行動規範」も導入されている。

自動車用品のチェーンであるオートバックスセブンを展開するアイエーグループは、「企業理念」として「社員の人生各分野—精神面、社会生活面、教養面、精神面、経済面、家庭生活面—における成長と発展を願い仕事環境の創出を致します」、「社会との関わりを大切にし、豊かな社会作りに貢献致します」、「時流変化を正しく認識し、絶えざる革新を行う企業経営に邁進致します」、「アイエー—Identified Ambition (同一化・確認された志)—は社員個々の可能性を尊重し、21世紀に向けた各人の夢と会社の志を実現するために、常に理念および価値観を共有化した集団であり続け、質の高い魅力あるぐっとカンパニーを目指します」を掲げ、現在はより簡潔な表現として「社員の夢と会社の志を実現するために—アイエーは社員個々の可能性を尊重し、各人の夢と会社の志を実現するために、常に理念および価値観を共有化した集団であり続け、質の高い魅力あるグッドカンパニーを目指します」となっている。同業のイエローハットは、「凡事徹底」と「良樹細根」の「社是」、「企業理念」は「思いやりの心を磨き、関わる人すべてに、喜びと感動を与える」を掲げる。

## 2-6. サービス業

旅行業では、近畿日本ツーリストは、「経営信条・理念」(昭和40[1965]年9月1日制定)として「今や、企業は社会の重要な一機関であり、またそれ自体一つの社会をなして



いるという考え方に徹するべきである。かくてツーリストは、本来の事業目的である旅行の販売、斡旋を通して広く国民生活の経済的、社会的、文化的交流に資するという社会的使命を全うしなければならない。同時にまた、ツーリストは、それ自体一つの社会としてみずからの生命の発展、人間の開発を推進し、あわせて経営参加者の幸福をはかって行かなければならない。ツーリストは、この価値高き企業を存続、維持、発展せしめるために、全力をもって邁進せんとするものである。利潤は、かかる目的を実現するための不可欠の手段であり、社会から企業に与えられる報酬である。ツーリストは、以上の目的を最高度に実現するために、長期的観点に立って最大かつ公正な利潤の獲得を期さねばならない」を掲げていた。

情報処理サービスやIT関係のインテックは、「経営理念」として「インテックは、総合情報システム企業として、(1) 人材と技術の蓄積、(2) お客さまと信用の蓄積、(3) 資本の蓄積、をはかることによって、高品質のすぐれた商品とサービスを提供し、お客さまの発展と人々の豊かな生活と文化の向上に貢献します」、「経営目標」として「インテックは、お客様のお役に立つことによって適正な利益を確保し、会社の永続的な発展をはかり、株主の期待にお応えし、あわせて社員の福祉向上をはかります」、「企業行動指針」＝「INTERLINK《6C》」として「InterLink with Clients－お客さまとの総合信頼」、「InterLink with Consumer－市場、消費者との相互心霊」、「InterLink with Cooperators－業種・業態をこえたパートナーとの相互信頼」、「InterLink with Colleague－仲間・同志との相互信頼」、「InterLink with Communication－当社の総合的コミュニケーション力を活かしたInterLinkへの取り組み」、「InterLink with Community－地域社会との相互信頼、そして共生」を掲げ、現在の「経営理念」は「インテックは

ITによって、お客さまの発展にお役に立つこと 常に企業倫理を遵守し地球環境の保全に努め社会に貢献しつづけること 適正な利益を確保して株主の期待にお応えし社員が自己実現を達成しつつ会社の永続的な発展をはかることを 経営の理念とする」であり、前掲の「企業行動指針（私たちの行動指針）」にはもう一つのCである「InterLink with Corporate-holder」が付け加わった。

運輸業のエスラインギフトは、「社是」＝「和」の下、「社訓」として「向上、健康、誠実、創意、安全、団結」、「エスラインの姿勢（社風）」として「みどりの和をまわし、一步前進」＝「エスライン集団の生活の向上を図る」→「常に革新を図り業界を一步リードする」→「国際的感覚を身につける」→「未来を志向したユニークな企業を建設する」→「輸送基盤を確立する」、そして「ときめき（自主性）」、「ひらめき（創造性）」、「こだわり（独自性）」が強調される。現在の「経営理念」は「社是『和』を中心に、運命共同体の一員として職務に応じ企業の運営を分担する」とされる。港湾関係の運輸業であり、明治期に横浜の廻酒店から創始された宇徳運輸は、「UTOC（ウトク）は、『価値の創造と交流』を信条とし、社会に貢献します」＝「U（Useful）－社会のお役に立てる会社」、「T（Trendy）－常に新しい会社」、「O（Original）－常に独創性のある会社」、「C（Challenge）－何事にも前向きに挑戦していく会社」を掲げ、現在の「企業理念」は「顧客のニーズと時代の要請に沿った高品質なサービスの提供を通じ社会に貢献し、企業価値の向上を目指します」、「社会規範と企業倫理に則った透明性の高い経営を行い、チャレンジ精神豊かな人間性を尊ぶ企業を目指します」、「全ての事業領域での安全確保の徹底と環境保全に努めます」である。運送業の遠州トラックは、「社是」として「相違 熟慮自省」、「誠意 勤勉力行」、「熱意 積極果敢」を掲げ、現在の「経営理念」は「心ある会社 心

ある社員」である。

タクシー業界のエムケイは、「我等の信念」として「我等は労働が最高にして神聖であることを信ずる」、「我等は会社とともにあることを信じる」、「我等の責務は乗客に対するものであることを信ずる」、「我等は社会に奉仕しなくてはならない」、「我等は健全な利益をあげなくてはならない」、「我等は学習に心がけ人格の完成につとめなければならない」を掲げ、現在も継承され、「経営理念」は「お客様第一主義」と「タクシードライバーの社会的地位向上」である。交通サービス会社らしく、「MK 6つの基本」として「安全運行につとめること」、「笑顔でハキハキと挨拶をすること」、「言葉遣いは丁寧にすること」、「ドアサービスを徹底すること」、「身だしなみを清潔にすること」、「車両美化に努めること」、「安全運転 3原則」として「交通ルールの遵守」、「多段発進」、「表示確認・右左折確認」、「接客マナー 3原則」として「笑顔の出会い」、「全てに気配り」、「双方感謝」が示されている。

飲食業では、グルメ杵屋は、「社訓」として「われわれは、常に感謝の心をもって、お客様に最善を尽くします」、「われわれは、プロフェッショナルとして、常に学び、考え、行動します」、「われわれは、何事にも計画性をもって、確実に実践します」、「われわれは、優れた感性を磨き、限りなき明日を創造します」、「われわれは人の和を大切に、若さと活力で会社の発展をはかります」、「われわれは、自己の革新につとめ、相互の向上をはかり、人材を育てます」、「われわれは、小さな積み重ねを大切に、たゆみなく努力します」、「経営理念」＝「根本理念」として「仕事を通じて 人生を楽しみ 社会に貢献する」、「モットー」として「まず 走れ！！走りながら 考えます 考えながら 走ります」、「経営指針」として「簡単で便利 そして安く」を現在も掲げている。ガスト、バーミヤン、グラッチェガーデンズ、ジョナサン

などのファミリーレストランチェーンを展開するすかいらーくは、食品販売のスーパーから飲食業チェーンへと進出した企業であり、「価値ある豊かさの創造」＝「ひとりでも多くのお客様に安くておいしい料理を気持ちのよいサービスで清潔な店舗であじわっていただく」を掲げ、現在のグループの「経営理念」は「価値ある豊かさの創造」、「戦略ビジョン」として「全てはお客様の笑顔のために」、「ミッション」として以前の「ひとりでも多くのお客様に安くておいしい料理を気持ちのよいサービスで清潔な店舗であじわっていただく」を引き続き掲げている。ほかに「行動規準」として「安全の保障」、「適正な取引と各種法令遵守」、「経営情報の開示」、「地域社会への貢献」、「人権尊重・差別禁止」、「反社会的勢力との関係断絶」、「国際社会への貢献」、「役員・幹部社員の責務」を示している。持ち帰りすしの小僧寿しは、「顧客満足宣言」として「私は、お客様のために『大転換』をはかります」、「私は、自分の都合、店の都合を言いません」、「私は、お客様の視点で考え行動します」、「私は、お客様のワガママを何でも聞きます」、「私は、常にスキルアップを考え実行します」、「私は、『できません』『むずかしい』という言葉をつかいません」、「私は、いつまでも感謝の姿勢を忘れません」、「誓いのことば」として「私達はいつまでも小僧の姿勢で、お客様のよろこびを第一とし、小僧寿しのチェーンの発展と調和のため、誠意をもって努力することを誓います」を掲げ、現在の「経営理念」は「食生活の未来を創造する企業へー『お寿司』という日本の伝統食を通して、多くのお客様にうれしい笑顔とおいしさを届けること。それが私たち小僧寿しの最大の使命である。」である。

社員食堂など事業者向けの食堂を運営する西洋フードシステムズ（現西洋フード・コンパスグループ）は、「5つの経営思想」として「マーケットオリエンテッドの思想—社会から孤立してはいけない。マーケットの変化

に目を向け、社会のための会社である、という視点を常にもつ、「お客様最優先の思想—お客様がどう感じ、どう思うかを常に感じ取れる感度の高い社員集団にする」、「現状否定・現状打破の思想—過去の経験と現状を否定し、挑戦と革新の社風を創る」、「人間尊重の思想—社員の個性を伸ばし、社員を信頼し、団結と思いやりの経営を实践する」、「仕事に対する厳しい責任感の思想—仕事は厳しいから楽しい。責任を果たす意思と勇気が自己を成長させ、仕事を楽しくする」、「企業テーマ」として「企業はその試練を厳しく乗り越えただけ成長を持続でき、人はその試練に耐えた強さだけ大きく成長する。我々の前に立ちただかる試練とは飲食の産業化であり、古い体験からの離別である」を掲げ、現在はそれまでのファミリーレストラン事業から徹底して、英国資本のグループ企業となり、「私たちの目指すもの」として「クライアント様の良きパートナーとして、また良き企業市民として、『健康、安全、環境』に積極的に取り組みます」の下、「自らの価値観」＝「率直、信頼、誠実」、「品質への情熱」、「チームワークへの勝利」、「責任」、「Can-doへの挑戦」が示されている。

松屋（現松屋フーズ）は、中華飯店から創業され、吉野屋と同業の牛めしへ参入し、その後食品ラインを多様化させてきた。同社は、「顧客第一主義（Please Come Again）—略してP.C.A. お客様に、またご来店いただけるような商品とサービスを提供する事」、「共存共栄—よい取引先と良好で正しい取引関係を維持し日本で一番良い品揃えをすること」、「人間尊重—従業員を育成し、その能力をフルに発揮させること」、「堅実経営—毎日誠意ある商売を一つ一つ積み重ねていくこと」、「創意工夫—お客様のために役立つ新しい商品の開発。新しいサービスの創造を推進する事」を掲げ、現在の「経営理念」は「店はお客様のためにあり、店は会社の姿である」、「お客様は儲けさせてくれない店に用は

ない」、「私達が得られる満足の程はお客様が得た満足の程である」である。日本発のハンバーガーチェーンであるモスフードサービスは、「基本方針」として「お店全体が善意に満ちあふれ、誰に接しても親切で、優しく、明るく、朗らかで、キビキビした行動、清潔な店と人柄、そういう店でありたい。『心のやすらぎ』『ほのほのとした暖かさ』を感じていただくために努力しよう」を掲げ、現在は「経営理念（私たちの存在意義）」として「人間貢献・社会貢献—お客様さまや地域社会と深く結びつき、真心をこめたサービスを提供することを通じて社会に貢献しよう」、「創業の心（私たちの志・想い）」として「感謝される仕事をしよう」が示され、「基本方針」は継承されている。

居酒屋などの飲食店を展開するワタミフードサービスは、「社是（すべてを一言で言う）」＝「FROM-O—素直なれ、原点にこだわられ、感激せよ、挑戦せよ」、「社員としての法律（社訓）」＝「約束を守る、嘘をつかない」、「愚痴、陰口を言わない」、「笑顔で元気良く挨拶をする」、「出来ないと言わない」、「失敗を他人のせいにはしない」、「大いに発言し、果敢に実行する」、「他人の意見を聞く」、「恥ずかしいと思うことはしない」の下、「私達の目指すもの（経営目的）」として「一人でも多くのお客様にあらゆる出合いをふれあいの場と安らぎの空間を提供すること」、「会社の繁栄、社員の幸福、関連会社、取引業者の繁栄、新しき文化の創造、人類社会の発展、人類の幸福への貢献」、「会社の合い言葉（社標）」として「お客様に感動を与える店を造ろう」、「明るくのびのびと仕事をしよう」、「仕事に対する心構え（経営理念）」として「ワタミフードサービスは同じ目的のために同じ心を持つ同志の集合体であるべし」、「感激できる感性をもつべし、感激は情熱の源であり、情熱は成功への出発点である」、「逆境に悲観せず、順境に楽観せず、常にハングリー精神をもち挑戦しつづけるべし」、「結果

がすべてである。すべての戦いに勝ち続けねばならない」、「常に謙虚なれ、常に感謝せよ」、「他人の喜びや悲しみを共有せよ」、「問題意識を持つべし、問題の発見と解決が次のビジネスチャンスを生む」、「継続こそ力なり。日々の努力は継続されることにより信用を生み信用は力を生む」、「店舗経営の基本的な考え方」として「お店はお客様だけのものである」、「店舗経営の具体的方針（店舗運営規準）として「商品が美味しいこと」、「商品がタイミングよく提供されること」、「商品が均一化されていること」、「メンバーが親切なこと」、「メンバーに笑顔をあふれていること」、「メンバーに活気があること」、「メンバーが礼儀正しいこと」、「店舗は清潔であること」、「明朗会計であること」、「QSC とのバランスにおいて価格が安いこと」が掲げられ、現在の「グループスローガン」は「地球上で一番たくさんさんの“ありがとう”を集めるグループになろう」、「グループミッション」は「地球人類の人間性向上のためのよりよい環境をつくり、よりよいきっかけを提供すること」、「グループ経営の基本目的」は先述の「経営目的」の第二項目、「経営理念」の内容はほぼ「グループ社員の仕事に対する心構え」へ継承されている。このほかに、「ワタミグループ憲章」があり、内容は「地球上で一番たくさんさんのありがとうを集めるために戦う」、「一人一人の社員が人間性の向上のため、夢を持ち、夢を追い、夢を叶える努力をする」、「一人一人の社員が、人として美しい生き方を追求する」、「『人』が差別化となる、コツコツと売上利益を積み上げる事業にのみ参入する」、「お客さまの満足をすべてに優先させる」、「公明正大な人事を行う、完全実力主義こそ、人事の要諦とする」、「額に汗した利益のみを、利益と認める」、「ありがとうの分だけを上げ、知恵の分だけ利益を出す」、「すべてのことにおいて、損得で判断をせず善悪で判断する」、「ワタミらしいことをすべて肯定し、ワタミらしくないことをすべて否

定する」、「100年先から見た経営をする、100年先から見た時、問われるのは数字の多寡ではなく、いかに存在し、いかに周りによりよい影響をあたかだ」となっている。

ラーメンチェーンの幸楽苑は、「経営理念」として「より多くの人々のよりふだんの食の場面によりおいしい味でより低い価格の商品をより速いスピードで提供することに私達は喜びを持つ」、「働く人達がやりがいと生涯設計のもてる会社にしよう」を掲げ、現在は「ビジョン」として「何よりも美味しい商品を提供し続ける」、「日本一の外食産業になる」、「そして、世界に進出し、我々のらーめんをグローバルスタンダードにする」、「バリュー」として「お客様を大切に」、「お取引様を大切に」、「働く人達を大切に」、「そして誠実に努力する」が示される。回転ずし、ステーキ・ハンバーグ、焼肉、居酒屋などのチェーン展開するアトムは、「私達の使命」として「私達は、日本を代表するフードサービス業を目指し、お客様の食文化の創造と、地域社会になくってはならない存在になる様、努力に努力を重ねます」、「私達の信条」として「幸せは健康から—私達は、幸せと健康を売る仕事です」、「私は、人との出会いを大切に、今日、出会う多くの人達に喜びを発信します」、「私は、会社の夢の実現と同時に、自分の夢も実現します。Catch the success! Open the Heart. 成功を勝ち取ろう！心を開いて」を掲げ、現在の「企業理念」は「すべてはお客様と社員のために」、「社是」は「我が社、お客様に『楽しかった、おいしかった』と喜ばれる私語をする」、「我が社は、成長・繁栄の為に全力を尽くす」、「我が社は、社員の幸福と生活向上に努力する」、「我が社は、創意工夫と人の和をもって前進する」、「我が社は、仕事を通じて社会に奉仕する」となっている。

宿泊業のロイヤルホテルは、「社是」として「我々は時勢の進運と顧客の信頼に応え誠実を基にたゆまざる努力と情熱をもって世界

に誇りうる『設備・料理・サービス』を提供するとともに事業を通じ文化的で豊かな社会の創造と発展に貢献することを使命とする」、「社員心得」として「私達は誠実を旨として常に人情の機微に触れるサービスにつとめます」、「私達は勇気と情熱をもって常に公明正大な道をあゆみます」、「私達は日々新たな心をもって絶えず創意工夫をはかります」、「私達は広く内外に知識を求め絶えず自己研鑽にはげみます」、「私達は規律を重んじ一致協力して社業の発展につくします」を掲げ、現在は「リーガロイヤルホテルビジョン」として「CS・ES・No.1—すべてのシーンにあふれる笑顔、それが私たちの喜びです。誇りうるNo.1 ホテルグループの創造を通じ、社会に貢献すること、法令を遵守し、企業価値の向上に努めること、それがRIHGA ROYALの使命です。リーガルロイヤルビジョンとは私たちの願いです」、「リーガルロイヤルハーツ」として「あたたかい心」、「正しき心」、「考える心」、「情熱の心」が掲げられている。ホテルオークラは、「営業の三大目標」として「Best Accommodation」、「Best Cuisine」、「Best Service」、「ホテルオークラスピリット」として「常に前進せよ!」、「世界一のホテルを目指せ!」、「和を保て!」、「親切に徹せよ!」、「楽しい職場をつくれ!」を掲げ、「企業理念」は「親切と和」となっている。

老舗の帝国ホテルは、「理念」として「帝国ホテルは、創業の精神を継ぐ日本の代表的ホテルであり、国際的ベストホテルを目指す企業として、最も優れたサービスと商品を提供することにより、国際社会の発展と人々の豊かでゆとりある生活と文化の向上に貢献する」、「行動指針」として「私たちは、その伝統を十分認識し、お客様の要請を発想の原点として、提供する全てのサービス、技術の向上改善に徹し、新しい価値の創造に努める」、「私たちは、創意工夫と挑戦の精神を尊重し、かつ協調と調和の態度を貫くことにより総合

力の向上を追求する」、「ホテル業が、人を原点とすることを正しく理解し、規範たるホテル十訓の導く行動に徹する」が掲げられ、現在も継承されている。ほかに「帝国ホテル十訓」として「親切、丁寧、迅速—この三者は古くて新しい私共のモットーであります」、「協同—各従業員は所属係の一員であると同時にホテル全体の一員であります。和衷—協同をもって完全なるサービスに専念してください」、「礼儀—礼儀は心の現われ、ホテルの品位です。お客様にはもとより、お互い礼儀正しくしてください」、「保健—各自衛生を守り健康増進に努めてください」、「清潔—ホテルの生命であります。館内は勿論、自己身の清浄に心がけてください」、「節約—一枚の紙といえども粗略にしてはなりません。私用に供することは絶対に禁じてください」、「研究—各自受持の仕事は勿論、お客様の趣味、嗜好まで研究しておいてください」、「記憶—お客様のお顔とお名前を務めて速やかに覚えてください」、「敬慎—お客様の面前でひそひそ話や、くすくす笑いをしたり、身装を凝視することは慎んでください」、「感謝—いつも『ありがとうございます』という感謝の言葉を忘れないでください」がある。

会員制ホテル業のリゾートトラストは、「経営理念」として「ビューティフルカンパニーを目指して」、「コーポレート・マインド・イン・マインド」として「ビジネスリーダーわたしたちは余暇・生活環境の創造と提供をビジネスのテーマとして、存在意義—社会に対し新しい生活様式の提案を存在意義と感じ、目標—日本を代表する个性的かつ国際的な企業となることを目標とします。起業精神—そしてわたしたちは新天地開拓を企業精神とします。行動指針—Smile（スマイル）、Smart（スマート）、Sincerity（シンシアリティ）、Speedy（スピーディ）、Safety（セイフティ）、Saving（セイビング）、Study（スタディ）そしてChallenge（チャレンジ）を行動指針とし、プロミス—わたしたちに関

わる人々に対し絶えなき進展をお約束します。顧客に対して・・・価値ある商品・サービスの提供を通じた高い満足感、企業構成員に対して・・・快適で働き甲斐のあるビジネス環境、株主に対して・・・社業の発展と安定した配当、社会に対して・・・高い信頼感と魅力あるライフスタイル提案、「クラブ・マインド・イン・マインド」として「存在意義—わたしたちは余暇文化の創造と提供を社会に対する存在意義と感じ、目標—世界—満足感の高い総合リゾートクラブを目指します。行動規範—そしてわたしたちはプロフェッショナルな考え、プロフェッショナルな行動を行動指針とし、プロミス—会員の方に対し洗練の香り、充実の機能、ゆきとどいたサービスをお約束します」が掲げられ、現在のグループ「経営理念」は「私たちリゾートトラストグループは、新天地開拓を企業精神として『信頼と挑戦』『ハイセンス・ハイクオリティ』『エクセレント・ホスピタリティ』を追求しお客様のしなやかな生き方に貢献します」となっている。

人材派遣業のアール・エス・シーアール(Reliance)、エス(Service) —では、「経営理念」として「常に前進と向上を旨とし、より高い価値を追求する社会貢献企業をつくる」、「企業の使命を認識し、顧客優先に徹する誠心サービス企業をつくる」、「創意工夫を尊重し、自由で明朗な気風のクリエイティブな企業をつくる」、「従業員の生活基盤の確立と充実を目指す積極的バランス企業をつくる」、「行動指針」として「もうひと回り上を目指して全力をあげよう。緩めたら後退する」、「はじめにお客様の利益を考えよう。そこから次を考えよう」、「この仕事は社会の役に立っている。誇りを持とう。ただし感謝を忘れてはいけない」、「ひとりの力ははれている。みんなで力を合わせ、信頼を得よう」、「規則正しく礼儀を守れ。それが協力者を多くする」、「自分の責任と役割を自覚し、目標の達成に情熱を燃やそう」が掲げられた。医

療機器のレンタルサービスのアイ・エム・アイは、「経営理念」として5つの“For You”である「お客さまのために」、「取引先のために」、「従業員のために」、「社会のために」、「株主のために」を掲げ、現在は4つの“For You” = 「医療機関のために」、「社員のために」、「サプライヤーのために」、「社会のために」を掲げる。

花嫁衣裳の貸衣装から創始された冠婚葬祭サービスのワタナベウェディングは、「ワタナベマインド(経営基本理念)」として「わたしたちの目的は、真心の奉仕と知恵ある提案を通じて、すてきな生活文化を創造し、心豊かな社会の実現に貢献することにある」、「ワタナベポリシー(経営ポリシー)」として「世界最高のブライダル企業を目指します」、「美しいかどでの日を迎えるお客様に、価値ある情報・サービス・ネットワーク・システムを提供します」、「国際的視野をもって、絶えず経営の健全化をはかり、常に適正な利益を確保します」、「相互の理解と信頼に基づいた、明るい協力的な社風のもとで、組織の力を最大限に発揮します」、「社員の能力開発に努め、公正な処遇を行い、豊かな人生の実現を目指します」、「ワタナベスピリット(行動指針)」として「『仕事が好き』となる働き方をしよう。お客様に心からご満足いただけるよう、仕事への使命感をもとう」、「常に八方に気配りをしよう。かゆいところに手が届くサービス精神を身につけよう」、「絶えずお客様の真の声に耳をかたむけよう。業界や経済・社会全般の勉強をつづけて先見性を養おう」、「働く喜びを知ろう。傍を楽にする自分の働きで(人の心の美しさを出し尽くす働きで)、お客様と同僚の満足を両立させよう」、「計画を実行できる人間になろう。短期・中期・長期にわたる計画をしっかりと真剣に立てよう」、「誰にも負けない努力で、精一杯仕事に生きよう。仕事への実行力を身につけよう」、「昨日よりは今日、より創造的に仕事のやり方を改善・改革しよう。社員同志お

互いに働き甲斐ある職場をつくろう」、「自分の器を大きくしよう。より大きな仕事、よりむずかしい仕事に取り組める人間になろう」、「人間として他を思いやる大きな愛の心を持ち、仕事には徹底的に厳しく生きよう。中途半端を許さない生き方をしよう」、「平和な世界が会社存立の原点と知ろう。社会への貢献と平和への貢献ができる人間となろう」を掲げていた。

情報サービス業のアイエックス（現アイエックス・ナリッジ）は、「企業理念」として「情報サービスをもって社会に奉仕する」の下、「社員十訓」として「情報サービスの先駆者たることを自覚せよ」、「顧客に対するサービスに徹せよ」、「如何なる業務に関しても、責任を以て全力を尽くせ」、「プロとして自己の職業に自信と誇りを持って」、「国内の緒情勢の変動に敏感であれ」、「世界に於ける情報産業界に眼を向けよ」、「大いに論議し、情報の交換を図れ」、「常に自己を啓発し、向上に努めよ」、「健全なる心身を保持すべく自己管理を怠るな」、「社員たる前に先ず良識ある人間たれ」を掲げ、現在は「私たちは、情報サービスを通じ人と社会の豊かさに貢献してまいります」となっている。輸送サービスでは日立物流は、「経営理念」として「日立物流は、広く未来をみつめ、人と自然を大切にし、良質なサービスを通じて、豊かな社会づくりに貢献します。日立物流は、常に世界的且つ長期的視野に立ち、業界のリーディングカンパニーとなるために、たゆまぬ努力を重ねます。良き企業市民として社会のルールを守り、人を思いやり自然をいたわる優しい心を大切にします。生産と消費をつなぐ大切な機能を果たしているという誇りを持ち、常に品質第一を心がけ、真心のこもったサービスで顧客の期待と信頼に応えます。豊かな創造力、革新的な技術力、そして高度な情報力を活かして社会の発展に貢献します」を掲げたが、現在の「経営理念」はこうした長文ではなく最初の「日立物流は、広く未来をみつ

め、人と自然を大切にし、良質なサービスを通じて、豊かな社会づくりに貢献します」となり、「経営ビジョン」として「グローバルサプライチェーンにおいて最も選ばれるソリューションプロバイダー」であると企業存立の意義を明らかにしている。

トナミ運輸は、「経営基本方針」＝「トナミ運輸は輸送を通じ社会に寄与し事業の発展をはかる」として「荷主により早くより確実なサービスを」、「社内に相互信頼の気風と規律を」、「従業員に公正な配分を文化的な生活を」、「株主に適正で安定した配当を」を掲げ、現在も継承されている。「経営理念」としては「和の経営」の下、「相手が何に困っているか、何を求めているか、そして我々は何をすれば相手を高めることができるか。相手の願い、要望、気持ちを考え、知ることから、和の精神の発揮が始まります。荷主に対しては、これを物流を通じて実現し、従業員には教育を通じて実現します。これが和の経営理念です」が掲げられる。海上輸送では三菱グループの日本郵船は、「企業理念」として「海運は、日本および世界経済を支えるインフラストラクチャーとして大きな責務を負っている。わが社はこうした自覚の下に、国内外のグループ企業と共に、総合物流輸送業者として、世界に貢献することを基本理念としている。同時に、より豊かな生活を実現するための客船事業やさまざまな先端輸送技術の開発に注力している」を掲げ、現在の「基本理念」は「わたくしたちは、海・陸・空にまたがるグローバルな総合物流企業グループとして、安全・確実な『モノ運び』を通じ、人々の生活を支えます」、「経営方針」として「お客様とともに」、「株主・投資家の皆様とともに」、「社会とともに」、「グループ社員とともに」となっている。

病院、高齢者施設、幼稚園・保育園、学校、オフィス関係の飲食サービスを展開するエームサービスは、「企業理念」として「優れた品質のサービスを、効率よく提供するこ

とにより、お客様の満足、従業員の幸福、会社の成長を実現します」、「行動指針」として「お客様のニーズに合ったサービスを提供します」、「お客様に安全・安心を約束します」、「常により良いサービスを追求します」、「サービスのプロとして自信と誇りを持って働きます」、「常に変化と革新に挑戦します」、「人間としての成長と能力開発に努めます」、「適正な利益を生み出します」、「事業を通じて社会に貢献します」を掲げ、現在も継承されている。同業種で学生寮の食事の世話から創始されたグリーンハウスは、「社是」として「人に喜ばれてこそ会社は発展する」、「経営理念」として「全ての事業は『お客様に喜ばれること』を理念とする」、「企業使命」として「当社は社是『人に喜ばれてこそ会社は発展する』を基本理念とし、食を通して“健康に根ざした豊かさ（ウェルネス）”と“快適でさわやかな環境（アンビエンス）”の一貫したソフトとハードの提供を行う企業集団として、お客様と社会に貢献し、もって社員の幸福と株主並びに企業の繁栄を築くことを本旨とする」を掲げ、「企業理念」は現在も継承されている。社会人の経営教育など教育サービスのグロービスは、「GLOBIS Way（経営理念）」として、「ビジネスを通しての社会貢献（対社会）」、「自己実現の場の提供（対個人）」、「理想的な企業システムの実現（対ステークホルダー）」が掲げられ、現在も継承されている。（未完）

付記：前稿「社是の研究」（その1）と同様に800社近い企業の社是を収録した社会生産性本部編『社是・社訓』（1999年刊行）に依拠するとともに、必要に応じて各社のウェブサイトを活用した。